（６）錦鯉

本調査では、錦鯉への興味関心や経験の有無等の把握を目的として２万人にウェブアンケート調査を実施した。

アンケートでは、錦鯉を飼育したことがある、あるいは養鯉場を営んでいたような経験者、イベント等で錦鯉の飼育や観賞体験した体験者、錦鯉の飼育等の経験が全くない未経験者がいることが想定されることから、錦鯉の経験・体験の有無について回答する設問を設けた。その上で、下記の表のように経験の深度に応じた専用の設問群を設けることで、各回答者の錦鯉への興味関心の有無などの把握を行った。

■分野設問の項目

「１．錦鯉を飼育している（いた）、あるいは錦鯉の養鯉業を営んでいる（いた）」と回答した者への設問	ＧＱ１：錦鯉を飼育し始めたきっかけ ＧＱ２：錦鯉を飼育し始めた当初に飼育の仕方を学んだ方法 ＧＱ２補問：飼育の仕方を学んだ方法を選んだ理由 ＧＱ３：現在の継続状況 ＧＱ３補問１：錦鯉の飼育を続けている理由 ＧＱ３補問２：錦鯉の飼育から離れたきっかけや理由 ＧＱ４：錦鯉の飼育を続けている（続けていた）年数 ＧＱ５：錦鯉の飼育に関する活動内容 ＧＱ６：錦鯉の飼育に関する活動頻度 ＧＱ７：錦鯉の飼育に関する月額費用 ＧＱ８：錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力
「２．イベント等で錦鯉の飼育体験や観賞をしたことはある」と回答した者への設問	ＧＱ９：錦鯉に触れ合ったり観賞したりしたきっかけ ＧＱ10：錦鯉に触れ合ったり観賞したりした場 ＧＱ11：錦鯉を飼育しやすい状況 ＧＱ12：錦鯉の飼育に支払える月額費用 ＧＱ13：錦鯉を飼育していない理由 ＧＱ14：錦鯉の飼育や観賞に対する印象やイメージ ＧＱ15：錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力
「３．今まで錦鯉の飼育をしたことはない」と回答した者への設問	ＧＱ16：参加してみたい錦鯉の観賞の体験内容 ＧＱ17：参加しやすい錦鯉の観賞の体験条件 ＧＱ18：錦鯉の観賞体験をしたことがない理由 ＧＱ19：錦鯉の飼育や観賞に対する印象やイメージ ＧＱ20：錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力

①単純集計の結果について

■全調査対象者への設問

錦鯉の飼育をしたことがある者、あるいは全く飼育をしたことがない者がどの程度いるのかは、統計調査等では明らかとなっていない。加えて、錦鯉の「経験」にも深度があり、飼育をしたり養鯉場を営んでいたなどの経験がある者や、イベント等で錦鯉の飼育や観賞等の体験をしたりしたことがある者等がいると想定される。経験の有無を大別するならば、錦鯉を趣味あるいは職業として飼育したことがある者、イベント等で飼育あるいは観賞等の体験をした者、そして飼育等の経験がない者に分けることができると考えられる。

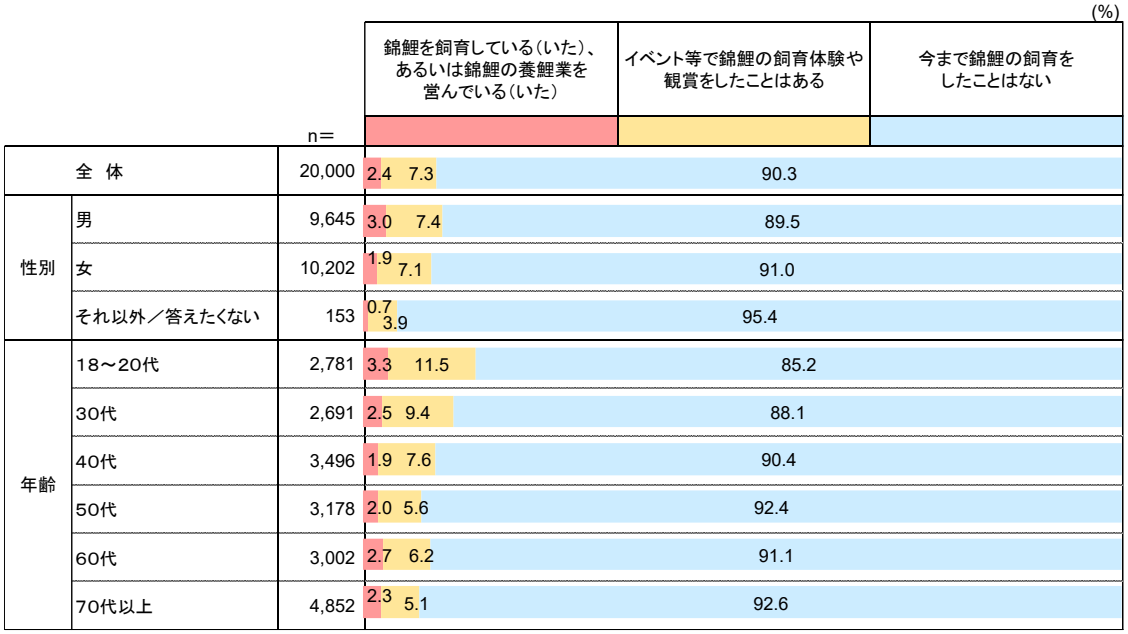
本設問では、上記の想定に基づき、錦鯉の経験の有無とあわせて、経験の深度を図る選択肢を設けて、実態の把握を行った。

錦鯉の経験の有無

経験率を見ると、「錦鯉を飼育している（いた）、あるいは錦鯉の養鯉業を営んでいる（いた）」（以下、「経験あり」）比率は 2.4%（487 人）、「イベント等で錦鯉の飼育体験や観賞をしたことはある」（以下、「参加体験あり」）7.3%（1,451 人）、「今まで錦鯉の飼育をしたことはない」（以下「未経験」）90.3%（18,062 人）となった。

男女別では、男性で「経験あり」、「参加体験あり」と回答した者の回答比率がそれぞれ全体平均を上回っており、若干男性が高い。

年齢別では、「参加体験あり」という回答比率が年齢が若い方が高くなっており、特に 18～20 代で 11.5%と高い。



集計表　ＦＱ６：錦鯉の経験の有無

■「錦鯉を飼育している（いた）、あるいは錦鯉の養鯉業を営んでいる（いた）」と回答した者への設問（ＧＱ１～ＧＱ８）

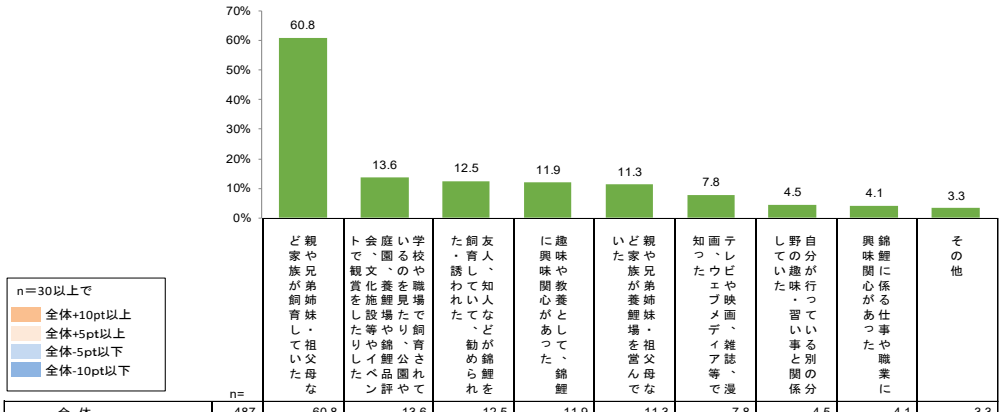
本設問群では、錦鯉の飼育を経験したことがあると回答した者が、どのようなきっかけや機会で錦鯉の飼育等を行うようになったのか、また、興味関心を持っているのか等を経験の実態を把握するためのアンケートを実施した。

錦鯉を飼育し始めたきっかけ

全体平均で最も回答比率が高いのは「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた」の 60.8%で、次いで「学校や職場で飼育されているのを見たり、公園や庭園、養鯉場や錦鯉品評会、文化施設等やイベントで観賞をしたりした」13.6%、「友人、知人などが錦鯉を飼育していて、勧められた・誘われた」12.5%、「趣味や教養として、錦鯉に興味関心があった」11.9%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、男女別では男性で「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた」（54.5%）の回答比率が全体平均より低く、女性で 70.6%と高い。

次に年齢別で見ると、年齢が高いほど「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた」という回答比率が高く、「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた」という回答比率が低くなる傾向が見られる。また、経験年数別で見ると、「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた」については、経験年数が長いほど回答比率が高くなっている傾向が見られる。



		n=	親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた	学校や職場で飼育されているのを見たり、公園や庭園、養鯉場や錦鯉品評会、文化施設等やイベントで観賞をしたりした	友人、知人などが錦鯉を飼育していて、勧められた・誘われた	趣味や教養として、錦鯉に興味関心があった	親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた	テレビ映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	自分が行っている別の趣味・習い事と関係していた	錦鯉に係る仕事や職業に興味関心があった	その他
	全 体	487	60.8	13.6	12.5	11.9	11.3	7.8	4.5	4.1	3.3
性別	男	292	54.5	16.8	15.4	13.7	11.6	8.6	4.8	3.8	3.1
	女	194	70.6	8.8	8.2	9.3	10.8	6.7	3.6	4.6	3.6
	それ以外／答えたくない	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
年齢	18～20代	91	46.2	22.0	15.4	8.8	25.3	6.6	7.7	7.7	-
	30代	68	45.6	25.0	23.5	10.3	27.9	11.8	8.8	7.4	1.5
	40代	68	60.3	10.3	10.3	14.7	4.4	4.4	2.9	1.5	5.9
	50代	64	71.9	6.3	6.3	10.9	4.7	7.8	3.1	1.6	3.1
	60代	82	72.0	11.0	3.7	13.4	4.9	6.1	3.7	4.9	4.9
	70代以上	114	67.5	7.9	14.9	13.2	2.6	9.6	1.8	1.8	4.4
経験年数	1年未満	45	68.9	15.6	6.7	6.7	6.7	8.9	6.7	2.2	4.4
	1～3年未満	96	41.7	15.6	17.7	16.7	7.3	11.5	5.2	4.2	3.1
	3～5年未満	110	47.3	12.7	20.0	20.0	7.3	12.7	4.5	4.5	2.7
	5～10年未満	107	70.1	8.4	6.5	11.2	9.3	10.3	0.9	3.7	0.9
	10～20年未満	73	72.6	6.8	8.2	6.8	5.5	11.0	4.1	4.1	4.1
	20年以上	56	80.4	8.9	10.7	14.3	10.7	17.9	5.4	8.9	7.1

※n=30未満は参考値のため灰色　　※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ１：錦鯉を飼育し始めたきっかけ

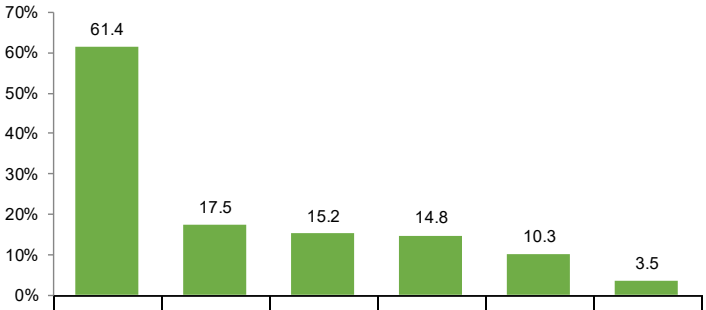
（その他の内容）貰った、お店で見て飼いたくなった

錦鯉を飼育し始めた当初に飼育の仕方を学んだ方法

全体平均で最も回答比率が高いのは「家族や知人等、身近な人に教えてもらっていた」の 61.4%で、次いで「雑誌や専門書等を見て学んでいた」17.5%、「錦鯉の愛好者団体に教えてもらっていた」15.2%、「養鯉場で教えてもらっていた」14.8%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、男女別では男性で「家族や知人等、身近な人に教えてもらっていた」（56.2%）と低く、女性で 69.6%と高く、飼育し始めたきっかけと同様の傾向にある。

次に年齢別では、10～30 代で「錦鯉の愛好者団体に教えてもらっていた」という回答比率が高い一方、50 代以上で低い。逆に、50 代以上では、「家族や知人等、身近な人に教えてもらっていた」の回答比率が高い傾向が見られる。



n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

		n=	家族や知人等、身近な人に教えてもらっていた	雑誌や専門書等を見て学んでいた	錦鯉の愛好者団体に教えてもらっていた	養鯉場で教えてもらっていた	ウェブサイトやYouTube等を見て学んでいた	その他
全 体		487	61.4	17.5	15.2	14.8	10.3	3.5
性別	男	292	56.2	19.2	17.1	16.4	13.0	3.1
	女	194	69.6	14.9	12.4	12.4	5.7	4.1
	それ以外／答えたくない	1	-	-	-	-	100.0	-
年齢	18～20代	91	47.3	16.5	29.7	16.5	18.7	2.2
	30代	68	54.4	22.1	25.0	23.5	14.7	1.5
	40代	68	55.9	16.2	14.7	4.4	11.8	7.4
	50代	64	64.1	10.9	4.7	14.1	7.8	6.3
	60代	82	75.6	15.9	8.5	13.4	7.3	2.4
	70代以上	114	68.4	21.1	8.8	15.8	3.5	2.6
経験年数	1年未満	45	80.0	17.8	4.4	8.9	6.7	2.2
	1～3年未満	96	47.9	22.9	27.1	14.6	8.3	4.2
	3～5年未満	110	51.8	18.2	17.3	17.3	10.9	2.7
	5～10年未満	107	65.4	12.1	13.1	15.9	8.4	3.7
	10～20年未満	73	64.4	17.8	9.6	4.1	12.3	2.7
	20年以上	56	76.8	16.1	10.7	26.8	16.1	5.4

※n=30未満は参考値のため灰色　　※全体の値を基準に降順並び替え

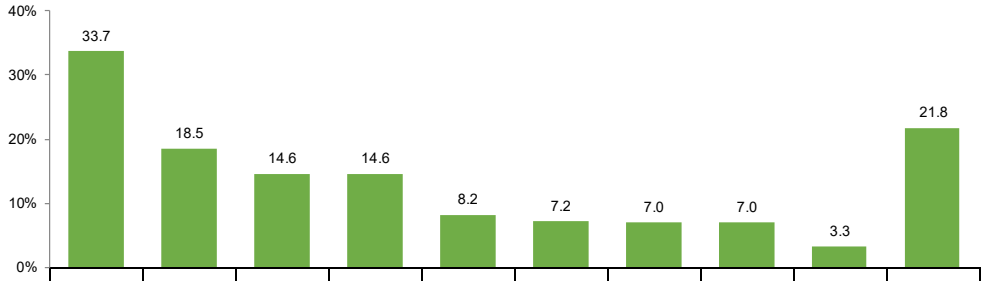
集計表　ＧＱ２：錦鯉を飼育し始めた当初に飼育の仕方を学んだ方法

（その他の内容）学んでいない、自分流、学校で飼育していた

飼育の仕方を学んだ方法を選んだ理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「家族や友人等と一緒が良かった」の 33.7%で、次いで「手軽にやってみたかった」18.5%、「通いやすい場所だった」、「費用が手頃だった」（共に 14.6%）と続く。

全体平均の回答比率と年齢別の回答比率とを比較すると、年齢別では、10～30 代で「通いやすい場所だった」、「費用が手頃だった」の回答比率が高く、70 代以上で「手軽にやってみたかった」（35.1%）という回答比率が高い。



n=30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

		n=	家族や友人等と一緒が良かった	手軽にやってみたかった	通いやすい場所だった	費用が手頃だった	通いやすい時間帯だった	雑誌や専門誌の解説が分かりやすかった	指導方法やカリキュラム、費用が具体的に示されていた	本格的にやってみたかった	その他	特に理由はない、わからない
全 体		487	33.7	18.5	14.6	14.6	8.2	7.2	7.0	7.0	3.3	21.8
性別	男	292	32.9	19.2	16.1	17.5	9.6	7.9	7.9	7.5	0.3	19.9
	女	194	35.1	17.5	12.4	10.3	6.2	6.2	5.7	6.2	7.7	24.2
	それ以外／答えたくない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
年齢	18～20代	91	35.2	9.9	29.7	22.0	14.3	6.6	18.7	9.9	-	7.7
	30代	68	35.3	16.2	17.6	23.5	22.1	10.3	11.8	7.4	-	17.6
	40代	68	29.4	10.3	10.3	13.2	1.5	4.4	2.9	7.4	5.9	25.0
	50代	64	32.8	12.5	7.8	9.4	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7	31.3
	60代	82	35.4	18.3	12.2	12.2	6.1	6.1	3.7	7.3	2.4	30.5
	70代以上	114	33.3	35.1	8.8	8.8	2.6	9.6	0.9	5.3	6.1	21.9
経験年数	1年未満	45	53.3	8.9	13.3	11.1	8.9	4.4	2.2	4.4	2.2	17.8
	1～3年未満	96	28.1	15.6	16.7	21.9	8.3	7.3	8.3	3.1	1.0	16.7
	3～5年未満	110	24.5	20.0	22.7	18.2	7.3	4.5	8.2	6.4	2.7	17.3
	5～10年未満	107	29.9	16.8	10.3	6.5	8.4	7.5	7.5	9.3	4.7	29.9
	10～20年未満	73	38.4	21.9	9.6	16.4	8.2	8.2	4.1	8.2	4.1	21.9
	20年以上	56	46.4	26.8	10.7	10.7	8.9	12.5	8.9	10.7	5.4	26.8

※n=30未満は参考値のため灰色　※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ２補問：飼育の仕方を学んだ方法を選んだ理由

（その他の内容）家に池があった、金魚と同じだと思ったから、手伝わねばならない状況だった

現在の継続状況

「続けている」は 34.1%（166 人）、「続けていない」は 65.9%（321 人）で続けていないとの回答比率が高い。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、男女別では男性で「続けている」が 41.4%と高い。

次に、年齢別では若い人ほど「続けている」という回答比率が高くなっている。

経験年数別では、20 年以上の回答比率が最も高く、次に１～３年未満と続く。

(%)

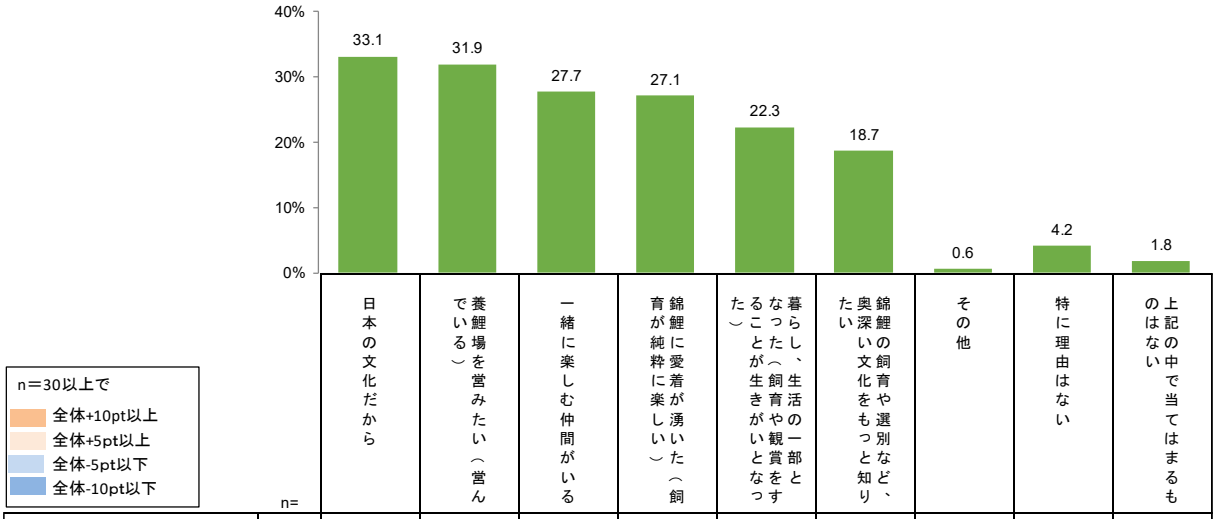
		n=	続けている	続けていない
全 体		487	34.1	65.9
性別	男	292	41.4	58.6
	女	194	23.2	76.8
	それ以外／答えたくない	1	100.0	
年齢	18～20代	91	71.4	28.6
	30代	68	55.9	44.1
	40代	68	29.4	70.6
	50代	64	18.8	81.3
	60代	82	14.6	85.4
	70代以上	114	16.7	83.3
経験年数	１年未満	45	40.0	60.0
	１～３年未満	96	42.7	57.3
	３～５年未満	110	30.0	70.0
	５～１０年未満	107	20.6	79.4
	１０～２０年未満	73	31.5	68.5
	２０年以上	56	51.8	48.2

※n=30未満は参考値のため灰色

集計表　ＧＱ３：現在の継続状況

錦鯉の飼育を続けている理由

全体平均で最も回答比率が高いのは「日本の文化だから」の 33.1%で、次いで「養鯉場を営みたい（営んでいる）」31.9%、「一緒に楽しむ仲間がいる」27.7%、「錦鯉に愛着が湧いた（飼育が純粋に楽しい）」27.1%と続く。



		n=	日本の文化だから	養鯉場を営みたい（営んでいる）	一緒に楽しむ仲間がいる	錦鯉に愛着が湧いた（飼育が純粋に楽しい）	暮らし、生活の一部となった（飼育や観賞をすることが生きがいとなった）	錦鯉の飼育や選別など、奥深い文化をもっと知りたい	その他	特に理由はない	上記の中で当てはまるものはない
全 体		166	33.1	31.9	27.7	27.1	22.3	18.7	0.6	4.2	1.8
性別	男	121	31.4	30.6	28.1	28.9	18.2	19.8	0.8	5.0	1.7
	女	45	37.8	35.6	26.7	22.2	33.3	15.6	-	2.2	2.2
	それ以外／答えたくない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢	18～20代	65	44.6	33.8	20.0	15.4	20.0	16.9	-	-	3.1
	30代	38	31.6	47.4	42.1	21.1	18.4	21.1	-	2.6	-
	40代	20	20.0	30.0	20.0	10.0	10.0	20.0	-	10.0	-
	50代	12	16.7	25.0	33.3	41.7	8.3	25.0	-	8.3	-
	60代	12	16.7	16.7	33.3	66.7	33.3	25.0	-	16.7	-
	70代以上	19	31.6	10.5	26.3	63.2	52.6	10.5	5.3	5.3	5.3
経験年数	1年未満	18	11.1	83.3	5.6	-	5.6	5.6	-	-	-
	1～3年未満	41	51.2	36.6	12.2	9.8	12.2	9.8	-	2.4	2.4
	3～5年未満	33	36.4	27.3	42.4	27.3	9.1	18.2	-	3.0	-
	5～10年未満	22	36.4	9.1	45.5	40.9	18.2	22.7	-	4.5	-
	10～20年未満	23	21.7	30.4	26.1	30.4	26.1	30.4	-	4.3	4.3
	20年以上	29	24.1	17.2	34.5	55.2	62.1	27.6	3.4	10.3	3.4

※n=30未満は参考値のため灰色　※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ３補問１：錦鯉の飼育を続けている理由

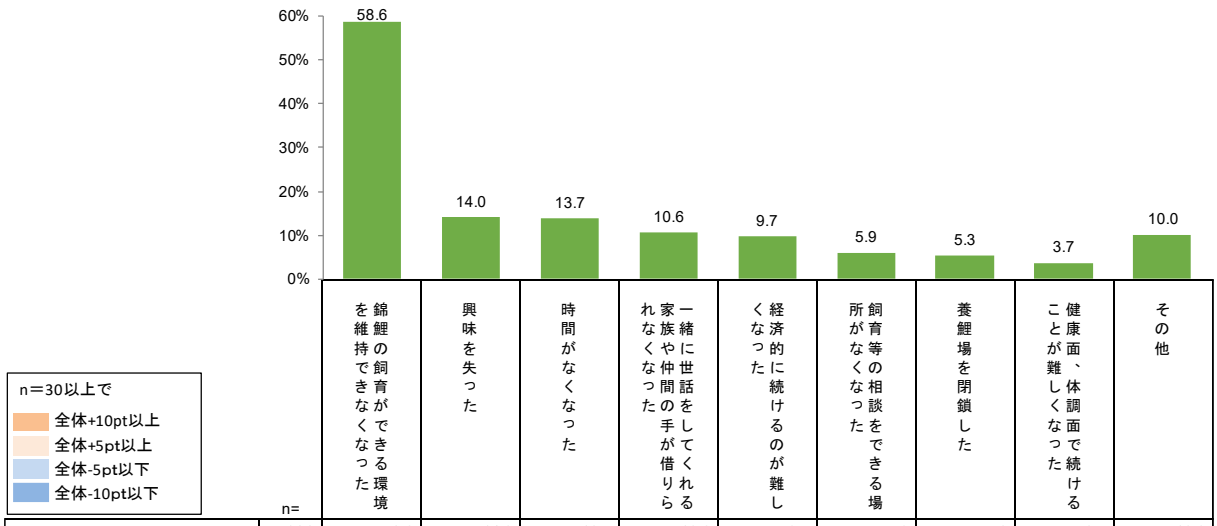
（その他の内容）自宅に池があるから

錦鯉の飼育から離れたきっかけや理由

全体平均で最も回答比率が高いのは、「錦鯉の飼育ができる環境を維持できなくなった」の 58.6%で、次いで「興味を失った」14.0%、「時間がなくなった」13.7%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、経験年数別の回答比率とを比較すると、男女別では、男性で「錦鯉の飼育ができる環境を維持できなくなった」（64.3%）の回答比率が高く、女性で 52.3%と低い。

経験年数別では、年数が少ないほど「興味を失った」という回答比率が高い傾向が見られる。



		n=	錦鯉の飼育ができる環境を維持できなくなった	興味を失った	時間がなくなった	一緒に世話をしてくれる家族や仲間の手が借りられなくなった	経済的に続けるのが難しくなった	飼育等の相談をできる場所がなくなった	養鯉場を閉鎖した	健康面、体調面で続けることが難しくなった	その他
全 体		321	58.6	14.0	13.7	10.6	9.7	5.9	5.3	3.7	10.0
性別	男	171	64.3	14.0	17.0	8.2	8.8	5.3	6.4	2.3	6.4
	女	149	52.3	14.1	10.1	13.4	10.7	6.7	4.0	5.4	13.4
	それ以外／答えたくない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
年齢	18～20代	26	38.5	11.5	23.1	15.4	15.4	15.4	3.8	3.8	3.8
	30代	30	56.7	10.0	10.0	16.7	3.3	3.3	3.3	6.7	10.0
	40代	48	68.8	12.5	12.5	14.6	16.7	4.2	2.1	8.3	10.4
	50代	52	63.5	13.5	15.4	1.9	11.5	3.8	5.8	3.8	7.7
	60代	70	54.3	11.4	18.6	10.0	7.1	10.0	5.7	1.4	11.4
	70代以上	95	60.0	18.9	8.4	10.5	7.4	3.2	7.4	2.1	11.6
経験年数	1年未満	27	44.4	29.6	40.7	7.4	11.1	7.4	-	-	11.1
	1～3年未満	55	56.4	18.2	14.5	12.7	12.7	7.3	5.5	7.3	3.6
	3～5年未満	77	64.9	16.9	10.4	3.9	9.1	3.9	2.6	2.6	6.5
	5～10年未満	85	60.0	9.4	12.9	16.5	8.2	5.9	5.9	3.5	8.2
	10～20年未満	50	64.0	6.0	8.0	14.0	10.0	8.0	8.0	2.0	14.0
	20年以上	27	44.4	11.1	7.4	3.7	7.4	3.7	11.1	7.4	29.6

※n=30未満は参考値のため灰色　　※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ３補問２：錦鯉の飼育から離れたきっかけや理由

（その他の内容）鯉が死んでしまった、引越しをした、池を埋め立てた、水槽に入らなくなった

錦鯉の飼育を続けている（続けていた）年数

全体平均で最も回答比率が高いのは、「３～５年未満」の 22.6%で、次いで「５～１０年未満」22.0%、「１～３年未満」19.7%と続く。全体平均で３年以上続けている（いた）人の比率は 71.0%となっている。

全体平均の回答比率と男女別の回答比率とを比較すると、男女別では、３年以上の継続者が、男性で 73.6%（292 人中 215 人）、女性で 67.5%（194 人中 131 人）となっており、男性の方が長期に続けている（いた）人が多い。

(%)

		n=	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～20年未満	20年以上	3年以上
全 体		487	9.2	19.7	22.6	22.0	15.0	11.5	71.0
性別	男	292	9.6	16.8	23.6	22.6	14.7	12.7	73.6
	女	194	8.8	23.7	21.1	21.1	15.5	9.8	67.5
	それ以外／答えたくない	1	100.0						-
年齢	18～20代	91	9.9	30.8	23.1	16.5	14.3	5.5	59.3
	30代	68	14.7	25.0	25.0	19.1	5.9	10.3	60.3
	40代	68	8.8	23.5	27.9	16.2	11.8	11.8	67.6
	50代	64	9.4	6.3	26.6	23.4	21.9	12.5	84.4
	60代	82	9.8	8.5	17.1	28.0	17.1	19.5	81.7
	70代以上	114	5.3	21.1	19.3	26.3	17.5	10.5	73.7

※n=30未満は参考値のため灰色

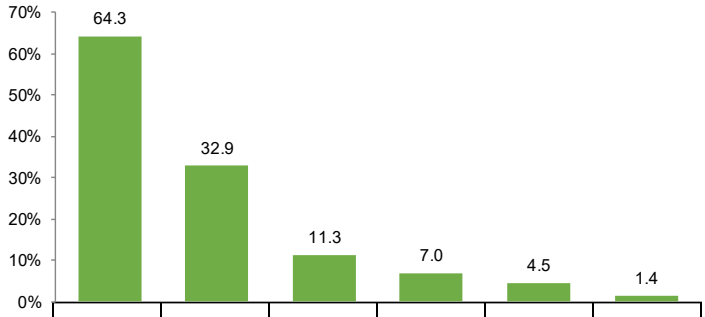
集計表　ＧＱ４：錦鯉の飼育を続けている（続けていた）年数

錦鯉の飼育に関する活動内容

全体平均で最も回答比率が高いのは、「自宅等の池で飼育している（いた）」の 64.3%で、次いで「自宅等の水槽で飼育している（いた）」32.9%、「養鯉場に預けて飼育してもらっている（いた）」11.3%、「錦鯉の品評会に出品している（いた）」7.0%と続く。

全体平均の回答比率と年齢別の回答比率とを比較すると、年齢別では 50 代以上の者で「自宅等の池で飼育している（いた）」が多く、若いほど「自宅等の水槽で飼育している（いた）」、「養鯉場に預けて飼育してもらっている（いた）」という回答比率が高くなっている。

また、経験年数別では、経験年数が５年以上で「自宅等の池で飼育している（いた）」の回答比率が高い傾向が見られる一方、１年以上５年未満では「自宅等の水槽で飼育している（いた）」の回答比率が高い傾向にあり、年代によって、また、経験年数によって飼育の仕方に傾向が見られる。



n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

		n=	自宅等の池で飼育している（いた）	自宅等の水槽で飼育している（いた）	養鯉場に預けて飼育してもらっている（いた）	錦鯉の品評会に出品している（いた）	錦鯉の養鯉場を営んでいる（いた）	その他
全 体		487	64.3	32.9	11.3	7.0	4.5	1.4
性別	男	292	62.7	33.9	11.6	7.9	4.8	0.7
	女	194	67.0	30.9	10.8	5.7	4.1	2.6
	それ以外／答えたくない	1	-	100.0	-	-	-	-
年齢	18～20代	91	37.4	46.2	25.3	16.5	12.1	1.1
	30代	68	55.9	41.2	23.5	11.8	7.4	1.5
	40代	68	63.2	30.9	8.8	4.4	1.5	-
	50代	64	71.9	29.7	9.4	4.7	-	-
	60代	82	78.0	26.8	3.7	3.7	3.7	2.4
	70代以上	114	77.2	24.6	0.9	1.8	1.8	2.6
経験年数	1年未満	45	73.3	20.0	13.3	2.2	2.2	4.4
	1～3年未満	96	41.7	49.0	14.6	8.3	4.2	-
	3～5年未満	110	47.3	45.5	16.4	6.4	6.4	-
	5～10年未満	107	74.8	20.6	5.6	7.5	2.8	3.7
	10～20年未満	73	80.8	27.4	9.6	6.8	2.7	-
	20年以上	56	87.5	21.4	7.1	8.9	8.9	1.8

※n=30未満は参考値のため灰色　　※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ５：錦鯉の飼育に関する活動内容

（その他の内容）学校で飼育している、実家で飼育していた

錦鯉の飼育に関する活動頻度

全体平均で最も回答比率が高いのは、「ほぼ毎日」の 41.3%で、次いで「週に２～３回」23.6%、「週１回程度」13.1%と続く。週１回以上活動している（いた）比率は 78.0%（487 人中 380 人）である。男女別では、男性で週１回以上活動している（いた）比率が 79.5%（292 人中 232 人）、女性で 75.8%（194 人中 147 人）となっている。

全体平均の回答比率と経験年数別の回答比率とを比較すると、「ほぼ毎日」（41.3%）と回答した者のうち、20 年以上の経験年数の者（62.5%）が全体平均を大きく上回っているほか、「週に２～３回」（23.6%）と回答した者では、１～３年未満の経験年数の者（36.5%）が全体平均を大きく上回る回答比率となっている。

(%)

		n=	ほぼ毎日	週に2～3回	週1回程度	月数回程度	月1回程度	年数回程度	年1回程度	週1回以上
全 体		487	41.3	23.6	13.1	6.6	3.3	2.7	9.4	78.0
性別	男	292	42.5	23.6	13.4	7.2	4.5	1.7	7.2	79.5
	女	194	39.7	23.2	12.9	5.7	1.5	4.1	12.9	75.8
	それ以外／答えたくない	1	100.0							100.0
年齢	18～20代	91	31.9	29.7	15.4	6.6	5.5	4.4	6.6	76.9
	30代	68	39.7	22.1	19.1	4.4	2.9	1.5	10.3	80.9
	40代	68	39.7	14.7	16.2	7.4	4.4	1.5	16.2	70.6
	50代	64	45.3	21.9	6.3	10.9	6.3		9.4	73.4
	60代	82	42.7	22.0	17.1	4.9	2.4	2.4	8.5	81.7
	70代以上	114	47.4	27.2	7.0	6.1	4.4		7.9	81.6
経験年数	１年未満	45	55.6	17.8	6.7	4.4	4.4	2.2	8.9	80.0
	１～３年未満	96	29.2	36.5	13.5	6.3	2.1	3.1	9.4	79.2
	３～５年未満	110	33.6	23.6	18.2	10.9	5.5	0.9	7.3	75.5
	５～１０年未満	107	39.3	22.4	17.8	3.7	2.8	4.7	9.3	79.4
	１０～２０年未満	73	46.6	20.5	8.2	5.5	2.7	4.1	12.3	75.3
	２０年以上	56	62.5	12.5	5.4	7.1	1.8		10.7	80.4

※n=30未満は参考値のため灰色

集計表　ＧＱ６：錦鯉の飼育に関する活動頻度

錦鯉の飼育に関する月額費用

全体平均で最も回答比率が高いのは、「１万円未満」の 60.4%で、次いで「１万円以上～５万円未満」22.0%、「５万円以上～10 万円未満」9.7%と続く。月額５万円以上支出している（いた）比率は 17.7%（487 人中 86 人）である。

全体平均の回答比率と年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、年齢別で見た場合、「１万円未満」（60.4%）と回答した者のうち 40 代、60 代、70 代以上で全体平均の回答比率を上回っている。また、「１万円以上～５万円未満」(22.0%)では 18～20 代が、「５万円以上～10 万円未満」(9.7%)では、10～30 代の回答比率が高い傾向にある。

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

(%)

		n=	１万円未満	５１万円以上～５０万円未満	１５０万円以上～５００万円未満	５１００万円以上～１５００万円未満	１５００万円以上～１００万円以上	１００万円以上	５万円以上合計
全 体		487	60.4	22.0	9.7	4.1	2.1	1.8	17.7
性別	男	292	58.2	24.3	9.2	4.1	2.4	1.7	17.5
	女	194	63.4	18.6	10.3	4.1	1.5	2.1	18.0
	それ以外／答えたくない	1	100.0	-	-	-	-	-	-
年齢	18～20代	91	24.2	39.6	20.9	4.4	6.6	4.4	36.3
	30代	68	39.7	23.5	22.1	8.8	2.9	2.9	36.8
	40代	68	72.1	16.2	8.8	2.9	-	-	11.8
	50代	64	62.5	23.4	4.7	4.7	3.1	1.6	14.1
	60代	82	82.9	13.4	-	1.2	-	2.4	3.7
	70代以上	114	77.2	15.8	3.5	3.5	-	-	7.0
経験年数	1年未満	45	80.0	13.3	4.4	2.2	-	-	6.7
	1～3年未満	96	57.3	28.1	11.5	3.1	-	-	14.6
	3～5年未満	110	54.5	20.0	19.1	5.5	0.9	-	25.5
	5～10年未満	107	63.6	16.8	9.3	4.7	3.7	1.9	19.6
	10～20年未満	73	57.5	24.7	4.1	4.1	6.8	2.7	17.8
	20年以上	56	58.9	28.6	-	3.6	-	8.9	12.5

※n=30未満は参考値のため灰色

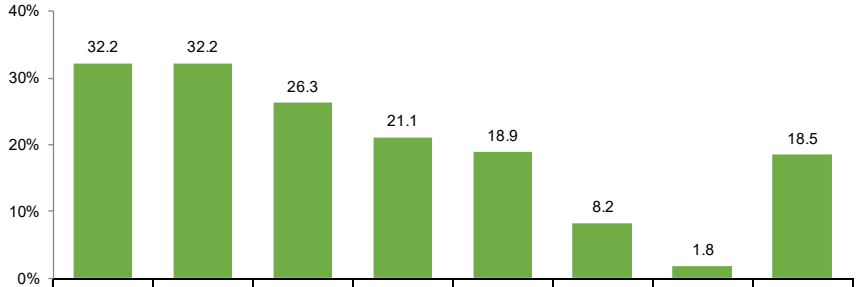
集計表　ＧＱ７：錦鯉の飼育に関する月額費用

錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力

全体平均で最も回答比率が高いのは、「飼育をしていくことで、変化する模様」と「種類によって異なる多様な色彩や模様」（ともに 32.2%）で、次いで「錦鯉の飼育・観賞することで、心を落ち着かせることができる」26.3%、「飼育していくための技術」21.1%と続く。

全体平均の回答比率と年齢別、経験年数別の回答比率とを比較すると、年齢別では、10～30 代で「飼育していくための技術」、「錦鯉の飼育・観賞を通じて感じられる四季等」の回答比率が高い傾向が見られる。

次に経験年数別では、経験年数が５年以上と回答した者ほど「錦鯉の飼育・観賞することで、心を落ち着かせることができる」の回答比率が高く、経験年数１年未満では「飼育をしていくことで、変化する模様」の回答比率が高い傾向があり、経験年数によって錦鯉に感じる興味関心や魅力に違いが見られる。



n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

		n=	飼育をしていくことで、変化する模様	種類によって異なる多様な色彩や模様	錦鯉の飼育・観賞することで、心を落ち着かせることができる	飼育していくための技術	錦鯉の飼育・観賞を通じて感じられる四季等	日本の伝統的な文化として国内外に知られている	その他	上記の中で当てはまるものはない
全 体		487	32.2	32.2	26.3	21.1	18.9	8.2	1.8	18.5
性別	男	292	33.6	31.2	26.7	23.3	19.5	6.8	1.7	16.4
	女	194	30.4	34.0	25.8	18.0	18.0	10.3	2.1	21.1
	それ以外／答えたくない	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0
年齢	18～20代	91	38.5	28.6	23.1	39.6	25.3	5.5	-	6.6
	30代	68	32.4	36.8	20.6	33.8	26.5	8.8	1.5	8.8
	40代	68	30.9	26.5	17.6	8.8	11.8	5.9	4.4	19.1
	50代	64	23.4	31.3	29.7	15.6	10.9	4.7	-	35.9
	60代	82	32.9	30.5	23.2	18.3	19.5	17.1	-	28.0
	70代以上	114	32.5	37.7	37.7	11.4	17.5	7.0	4.4	16.7
経験年数	1年未満	45	60.0	11.1	6.7	17.8	8.9	2.2	2.2	22.2
	1～3年未満	96	26.0	27.1	19.8	29.2	14.6	5.2	2.1	12.5
	3～5年未満	110	24.5	40.9	19.1	25.5	17.3	10.0	0.9	19.1
	5～10年未満	107	29.9	31.8	32.7	13.1	21.5	5.6	0.9	20.6
	10～20年未満	73	31.5	37.0	35.6	21.9	23.3	9.6	2.7	19.2
	20年以上	56	41.1	35.7	42.9	16.1	26.8	17.9	3.6	19.6

※n=30未満は参考値のため灰色　※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ８：錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力

（その他の内容）ペットとしてかわいい、飼育が楽しい、とにかく美しい

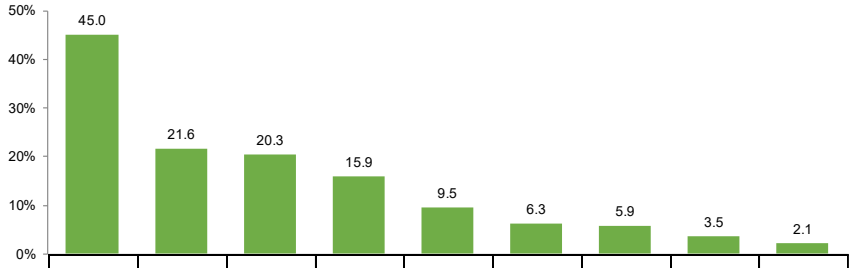
■「イベント等で錦鯉の飼育体験や観賞をしたことはある」と回答した者への設問（ＧＱ９～ＧＱ15）

本設問では、錦鯉の飼育や観賞体験をイベント等で体験したと回答した者が、どのようなきっかけや機会で錦鯉に関わる体験をしたのか、また、どの程度錦鯉に興味関心を持っているのか等を把握するためのアンケートを実施した。

錦鯉に触れ合ったり観賞したりしたきっかけ

全体平均で最も回答比率が高いのは、「学校や職場で飼育されているものや、公園や庭園、文化施設等で行われているイベントで見た」の 45.0%で、次いで「テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った」21.6%、「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた」20.3%と続く。

全体平均の回答比率と年齢別の回答比率とを比較すると、年齢別では 50 代以上で「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた」という回答比率が高く、30 代では、「学校や職場で飼育されているものや、公園や庭園、文化施設等で行われているイベントで見た」との回答比率が高い傾向にある。また、60 代以上では「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた」という回答比率は低く、10～50 代の回答比率が全体平均を少し上回っている。



n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

		n=	学校や職場で飼育されているものや、公園や庭園、文化施設等で行われているイベントで見た	テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた	友人、知人などが錦鯉を飼育していて、勧められた・誘われた	親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた	趣味や教養として錦鯉に興味関心があり、品評会等で観賞した	自分が行っている別の趣味・習い事と関係していた	錦鯉に係る仕事や職業に興味関心があった	その他
全 体		1,451	45.0	21.6	20.3	15.9	9.5	6.3	5.9	3.5	2.1
性別	男	718	41.4	23.4	20.6	19.8	12.7	7.7	6.5	4.9	1.3
	女	727	48.8	19.9	20.1	12.0	6.2	4.8	5.2	2.2	2.9
	それ以外／答えたくない	6	16.7	-	16.7	33.3	33.3	16.7	-	-	16.7
年齢	18～20代	321	48.0	18.4	12.1	15.9	12.1	4.7	8.7	6.9	1.6
	30代	253	51.0	24.1	17.0	17.0	13.8	7.5	5.1	2.4	0.8
	40代	266	45.9	17.3	19.9	16.2	12.4	6.4	4.5	1.9	2.3
	50代	179	43.0	24.0	25.7	12.8	10.1	4.5	4.5	3.9	2.8
	60代	185	42.7	22.2	25.9	16.8	2.7	5.4	4.9	1.6	2.2
	70代以上	247	37.2	25.5	26.7	16.2	3.2	8.9	6.1	3.2	3.6

※n=30未満は参考値のため灰色　　※全体の値を基準に降順並び替え

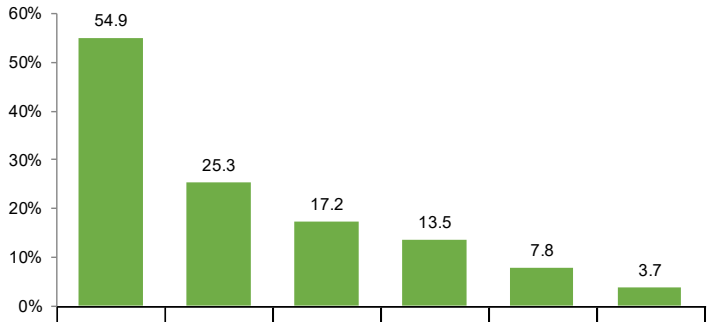
集計表　ＧＱ９：錦鯉に触れ合ったり観賞したりしたきっかけ

（その他の内容）旅行に行った際錦鯉と触れ合う機会があった、神社に行った際にいた、住んでいる地域が錦鯉の名産地であるから

錦鯉に触れ合ったり観賞したりした場

全体平均で最も回答比率が高いのは、「公園や庭園、文化施設等でのイベント」の 54.9%で、次いで「学校や職場で飼育されていた」25.3%、「錦鯉を扱う団体や業者が主催する品評会や即売会」17.2%、「自宅」13.5%となる。

全体平均の回答比率と年齢別の回答比率とを比較すると、10～30 代で「学校や職場で飼育されていた」の回答比率が全体平均より高く、70 代以上では著しく低い傾向にある。また、70 代以上では「錦鯉を扱う団体や業者が主催する品評会や即売会」(23.9%)、「自宅」(18.6%) の回答比率が高く、年齢によって錦鯉の飼育や観賞を体験した場に違いが見られる。



n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

		n=	公園や庭園、文化施設等でのイベント	学校や職場で飼育されていた	錦鯉を扱う団体や業者が主催する品評会や即売会	自宅	自分が行っている別の分野の趣味・習い事の中で体験	その他
全 体		1,451	54.9	25.3	17.2	13.5	7.8	3.7
性別	男	718	51.9	29.4	19.1	15.0	8.1	2.6
	女	727	57.9	21.2	15.5	12.0	7.6	4.7
	それ以外／答えたくない	6	33.3	33.3	-	16.7	-	16.7
年齢	18～20代	321	48.9	32.4	15.3	10.0	10.3	1.6
	30代	253	56.1	33.2	13.8	12.3	7.9	1.6
	40代	266	53.8	27.1	14.7	13.9	6.0	4.5
	50代	179	59.8	25.1	19.0	11.2	8.9	6.1
	60代	185	58.4	20.5	18.4	16.2	5.4	4.3
	70代以上	247	56.3	9.7	23.9	18.6	7.3	5.7

※n=30未満は参考値のため灰色　※全体の値を基準に降順並び替え

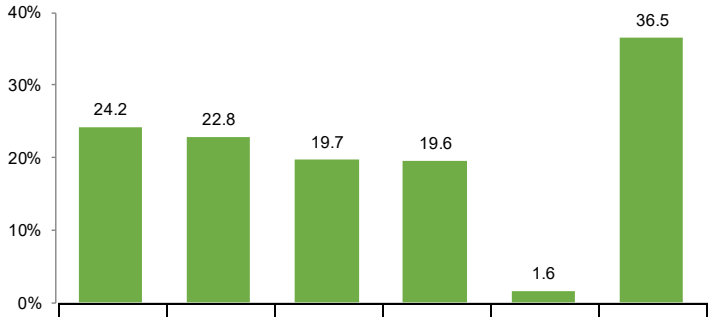
集計表　ＧＱ10：錦鯉に触れ合ったり観賞したりした場

（その他の内容）親戚の家、知人宅、旅行先で

錦鯉を飼育しやすい状況

全体平均で最も回答比率が高いのは、「通いやすい場所に相談に乗ってもらえる養鯉場等があったら」の 24.2%で、次いで「知人、家族と一緒に飼育できたら」22.8%、「家族や知人等、身近な人から飼育の仕方等を教えてもらえたら」19.7%、「飼育の仕方や設備の整え方等をわかりやすく示している雑誌や専門誌があったら」の 19.6%と続く。

全体平均の回答比率と年齢別の回答比率とを比較すると、10～30 代で「通いやすい場所に相談に乗ってもらえる養鯉場等があったら」、「飼育の仕方や設備の整え方等をわかりやすく示している雑誌や専門誌があったら」の回答比率が全体平均を上回っている。



n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

		n=	通いやすい場所に相談に乗ってもらえる養鯉場等があったら	知人、家族と一緒に飼育できたら	家族や知人等、身近な人から飼育の仕方等を教えてもらえたら	飼育の仕方や設備の整え方等をわかりやすく示している雑誌や専門誌があったら	その他	わからない
全 体		1,451	24.2	22.8	19.7	19.6	1.6	36.5
性別	男	718	28.3	25.8	22.0	23.0	0.8	29.4
	女	727	20.1	19.8	17.5	16.2	2.3	43.6
	それ以外／答えたくない	6	33.3	33.3	16.7	16.7	-	16.7
年齢	18～20代	321	30.2	24.9	20.9	25.5	0.3	23.7
	30代	253	29.6	24.5	23.7	25.3	0.8	29.2
	40代	266	26.3	22.6	22.2	19.9	0.4	33.8
	50代	179	22.3	21.8	15.6	16.2	3.9	41.3
	60代	185	16.2	22.2	16.2	12.4	1.6	50.8
	70代以上	247	15.8	19.8	17.0	13.4	3.6	49.0

※n=30未満は参考値のため灰色　※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ11：錦鯉を飼育しやすい状況

（その他の内容）自宅に大きな池があったら、飼育にかかる費用・年数があれば

錦鯉の飼育に支払える月額費用

全体平均で最も回答比率が高いのは、「１万円未満」の 67.7%で、次いで「１万円以上～５万円未満」18.0%、「５万円以上～10 万円未満」8.5%となった。月額５万円以上支払ってもいいと回答した比率は 14.3%（1,451 人中 208 人）である。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別の回答比率とを比較すると、男女別の場合、「１万円未満」（67.7%）と回答した者のうち、男性が 60.3%と全体平均を下回っている。また、男性で月額５万円以上支払ってもいいという回答比率が 16.9%（718 人中 121 人）あったのに対し、女性は 12.0%（727 人中 87 人）にとどまり、男女で差がある。

次に、年齢別で見た場合、「１万円未満」（67.7%）と回答した者のうち、10～30 代で全体を下回っている一方、50 代以上は全体平均を大きく上回っている。その一方で、10～30 代は１万円以上の回答比率が全体平均を上回っており、年齢によって傾向が異なる。

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

(%)

		n=	１万円未満	５１万円以上～５０万円未満	１５０万円以上～５００万円未満	５１００万円以上～１５００万円未満	１５００万円以上～１００万円以上	１００万円以上	５万円以上合計
全体		1,451	67.7	18.0	8.5	4.0	1.2	0.7	14.3
性別	男	718	60.3	22.8	9.9	5.7	0.7	0.6	16.9
	女	727	75.0	13.1	7.2	2.3	1.7	0.8	12.0
	それ以外／答えたくない	6	66.7	33.3	-	-	-	-	-
年齢	18～20代	321	53.6	26.2	12.5	4.4	2.5	0.9	20.2
	30代	253	57.7	19.8	13.0	6.7	1.6	1.2	22.5
	40代	266	64.3	16.9	10.5	6.4	1.1	0.8	18.8
	50代	179	78.8	14.5	2.2	3.4	0.6	0.6	6.7
	60代	185	80.0	13.0	5.9	-	0.5	0.5	7.0
	70代以上	247	82.6	13.0	2.8	1.6	-	-	4.5

※n=30未満は参考値のため灰色

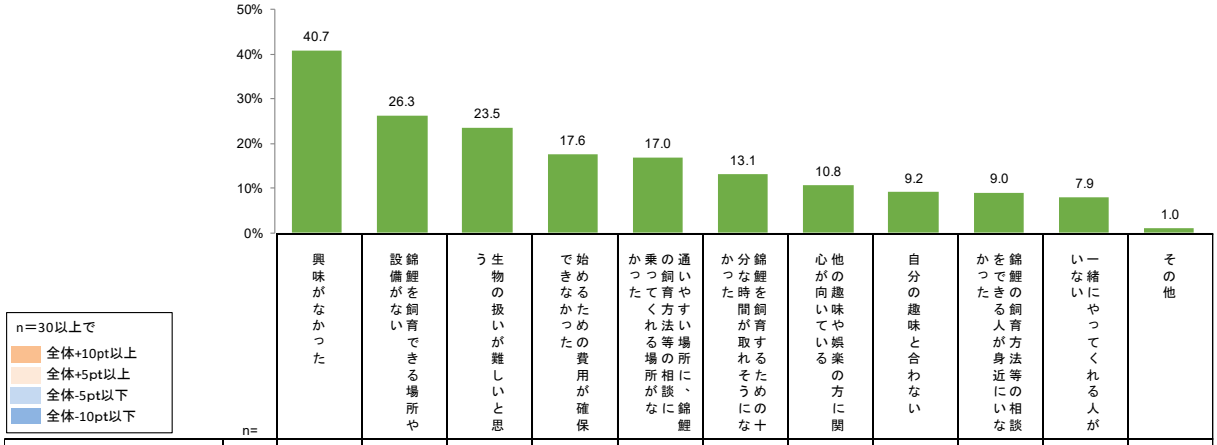
集計表　ＧＱ12：錦鯉の飼育に支払える月額費用

錦鯉を飼育していない理由

全体平均で最も回答比率が高いのは、「興味がなかった」の 40.7%で、次いで「錦鯉を飼育できる場所や設備がない」26.3%、「生物の扱いが難しいと思う」23.5%、「始めるための費用が確保できなかった」17.6%と続く。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別の回答比率とを比較すると、男女別で見た場合、男性で「興味がなかった」の回答比率が 32.7%と全体平均より低く、女性は 48.6%と高い。

次に年齢別では、「錦鯉を飼育できる場所や設備がない」(26.3%) と回答した者のうち、10～30 代で全体平均より回答比率が低く、50 代以上で回答比率が全体平均を上回っている傾向が見られる。



		n=	興味がなかった	錦鯉を飼育できる場所や設備がない	生物の扱いが難しいと思う	始めるための費用が確保できなかった	通いやすい場所に、錦鯉の飼育方法等の相談に乗ってくれる場所がなかった	錦鯉を飼育するための十分な時間が取れそうになかった	他の趣味や娯楽の方に関心が向いている	自分の趣味と合わない	錦鯉の飼育方法等の相談をできる人が身近にいなかった	一緒にやってくれる人がいない	その他
全 体		1,451	40.7	26.3	23.5	17.6	17.0	13.1	10.8	9.2	9.0	7.9	1.0
性別	男	718	32.7	28.1	22.7	21.0	22.6	17.0	11.0	6.4	11.7	8.8	0.4
	女	727	48.6	24.5	24.3	14.2	11.6	9.4	10.6	12.0	6.5	7.2	1.7
	それ以外／答えたくない	6	50.0	16.7	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-
年齢	18～20代	321	38.9	17.1	18.7	18.4	21.5	15.0	10.9	6.5	11.2	10.0	0.3
	30代	253	40.7	19.8	21.7	19.8	20.9	13.8	8.3	9.1	8.3	8.7	-
	40代	266	37.2	25.6	24.1	17.7	18.8	9.8	8.3	7.5	6.4	7.9	0.8
	50代	179	44.1	33.0	26.8	16.2	12.8	13.4	11.2	11.2	8.4	5.6	3.4
	60代	185	48.1	28.6	25.9	16.2	10.8	14.1	10.3	9.7	8.6	5.4	1.1
	70代以上	247	38.9	38.9	26.7	16.2	12.6	12.6	15.8	12.6	10.5	8.1	1.6

※n=30未満は参考値のため灰色　　※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ13：錦鯉を飼育していない理由

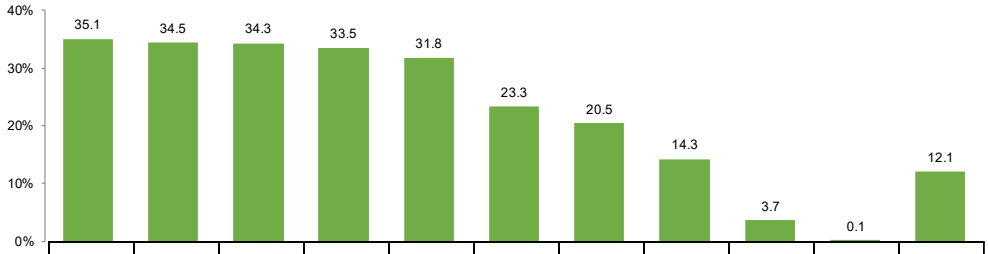
（その他の内容）飼うという発想がなかった、家族の理解を得にくい、親が飼育していてポンプ音がうるさいと思った

錦鯉の飼育や観賞に対する印象やイメージ

全体平均で最も回答比率が高いのは、「生物を扱うのは容易ではない」の 35.1%で、次いで「設備等にお金がかかる」34.5%、「錦鯉を飼育するための環境を整えるのが難しい」34.3%、「錦鯉の飼育や観賞が楽しめる」33.5%、「飼育の方法等が難しい」31.8%となっており、上位５つのイメージのうち４つが錦鯉飼育の難しさに関わるものとなっている。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別の回答比率とを比較すると、男女別では男性で「生物を扱うのは容易ではない」という回答比率が 29.9%と低く、逆に女性で 40.2%と高い傾向が見られる。

次に年齢別では、「生物を扱うのは容易ではない」（35.1%）で 18～20 代の回答比率が、「設備等にお金がかかる」（34.5%）でも 18～20 代の回答比率が低い傾向にあり、両項目では、50 代以上の回答比率が高くなっていることが分かる。



n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

		n=	生物を扱うのは容易ではない	設備等にお金がかかる	錦鯉を飼育するための環境を整えるのが難しい	錦鯉の飼育や観賞が楽しめる	飼育の方法等が難しい	日本の伝統文化への理解を深められる	暮らし、生活が豊かになる	飼育し始めると時間を取られる	一般に知られていない	その他	特に印象はない、わから
	全 体	1,451	35.1	34.5	34.3	33.5	31.8	23.3	20.5	14.3	3.7	0.1	12.1
性別	男	718	29.9	30.9	32.6	32.6	31.8	25.6	22.0	13.6	3.1	-	11.3
	女	727	40.2	38.1	36.2	34.4	32.0	20.6	18.8	15.0	4.3	0.3	13.1
	それ以外／答えたくない	6	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	66.7	33.3	-	-	-	-
年齢	18～20代	321	28.7	28.7	30.8	33.3	28.3	25.2	18.7	13.4	5.9	-	9.7
	30代	253	35.2	30.4	31.2	35.6	33.2	24.1	25.3	12.6	4.0	-	9.5
	40代	266	34.2	35.0	29.3	35.3	30.5	27.4	21.4	12.8	3.8	-	10.2
	50代	179	41.3	39.7	39.1	30.2	30.7	22.9	25.7	14.5	2.8	0.6	11.7
	60代	185	35.7	39.5	35.1	33.5	31.9	20.0	13.5	16.2	0.5	0.5	20.0
	70代以上	247	39.3	38.1	43.3	32.0	37.2	18.2	18.2	17.0	3.2	-	14.6

※n=30未満は参考値のため灰色　　※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ14：錦鯉の飼育や観賞に対する印象やイメージ

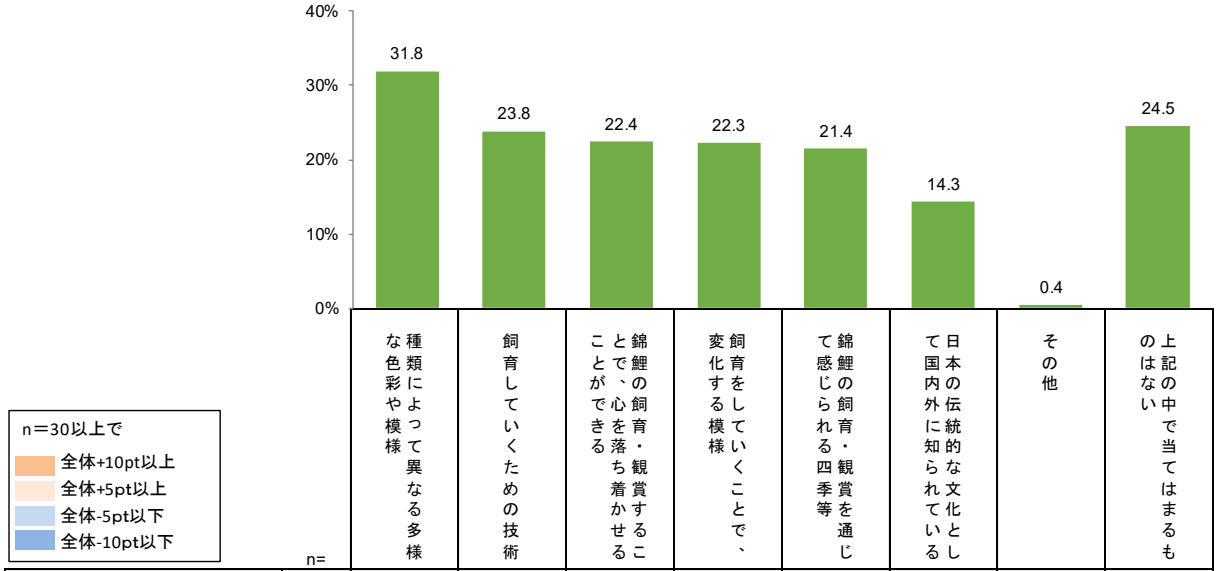
（その他の内容）ポンプにかなり電気代がかかる、元気だった鯉を数百匹全滅させてしまった経験あり

錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力

全体平均で最も回答比率が高いのは、「種類によって異なる多様な色彩や模様」の 31.8%で、次いで「飼育していくための技術」23.8%、「錦鯉の飼育・観賞することで、心を落ち着かせることができる」22.4%と「飼育をしていくことで、変化する模様」22.3%とがほぼ同率で続いている。

全体平均の回答比率と男女別、年齢別の回答比率とを比較すると、男女別で見た場合、男性で「飼育していくための技術」という回答比率が 29.5%と高く、逆に女性で 18.3%と低く、この項目のみ男女で興味関心や魅力に著しい差が見える。

次に年齢別で見ると、「飼育していくための技術」（23.8%）と回答した者のうち、50 代以上の回答比率が低い一方、30 代ではこの項目の回答比率が高い傾向が見られ、18～20 代、40 代でも全体平均をやや上回っている。



		n=	種類によって異なる多様な色彩や模様	飼育していくための技術	錦鯉の飼育・観賞することで、心を落ち着かせることができる	飼育をしていくことで、変化する模様	錦鯉の飼育・観賞を通じて感じられる四季等	日本の伝統的な文化として国内外に知られている	その他	上記の中で当てはまるものはない
全 体		1,451	31.8	23.8	22.4	22.3	21.4	14.3	0.4	24.5
性別	男	718	31.5	29.5	24.5	22.1	24.2	12.7	0.4	20.8
	女	727	31.9	18.3	20.2	22.4	18.7	15.8	0.4	28.5
	それ以外／答えたくない	6	66.7	-	33.3	16.7	16.7	33.3	-	-
年齢	18～20代	321	28.0	26.5	22.4	21.8	21.5	15.3	-	17.8
	30代	253	34.0	30.8	26.5	24.5	21.3	13.8	0.4	19.0
	40代	266	31.6	27.4	22.6	25.6	25.2	13.5	0.8	20.3
	50代	179	35.2	18.4	20.1	21.2	21.2	14.0	0.6	25.1
	60代	185	29.2	16.2	16.8	20.5	16.2	14.1	0.5	37.3
	70代以上	247	34.4	18.6	23.9	19.0	21.5	15.0	0.4	33.6

※n=30未満は参考値のため灰色　　※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ15：錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力

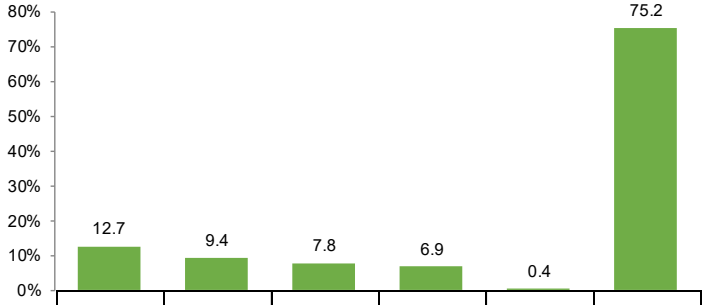
（その他の内容）情操教育、美しい、生物学

■「今まで錦鯉の飼育をしたことはない」と回答した者への設問（ＧＱ16～ＧＱ20）

本設問では、錦鯉の飼育等を経験したことがないと回答した者が、錦鯉の飼育や観賞の体験をするなら、どのような内容や機会なら参加したいか、また、錦鯉に対してどの程度、興味関心を持っているのか等を把握するためのアンケートを実施した。

参加してみたい錦鯉の観賞の体験内容

全体平均で最も回答比率が高いのは、「上記の中で当てはまるものはない」の 75.2%で、次いで「錦鯉の種類や飼育の仕方、観賞の仕方を教えてくれる」12.7%、「普段の生活の中で、錦鯉の飼育や観賞をどのように楽しめるのか教えてくれる」9.4%、「錦鯉の飼育で必要となる設備や環境等を詳しく教えてくれる」7.8%となった。



n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

		n=	錦鯉の種類や飼育の仕方、観賞の仕方を教えてくれる	普段の生活の中で、錦鯉の飼育や観賞をどのように楽しめるのか教えてくれる	錦鯉の飼育で必要となる設備や環境等を詳しく教えてくれる	錦鯉の歴史や意義を教えてくれる	その他	上記の中で当てはまるものはない
全 体		18,062	12.7	9.4	7.8	6.9	0.4	75.2
性別	男	8,635	12.5	8.5	8.2	7.3	0.3	75.9
	女	9,281	13.0	10.4	7.6	6.6	0.4	74.3
	それ以外／答えたくない	146	8.2	6.8	2.7	5.5	-	84.9
年齢	18～20代	2,369	15.2	11.0	10.6	8.1	0.2	69.4
	30代	2,370	12.9	11.2	9.6	10.1	0.2	72.3
	40代	3,162	15.1	10.8	9.6	8.6	-	71.9
	50代	2,935	13.0	8.7	7.2	6.6	0.5	75.3
	60代	2,735	10.9	7.3	6.4	5.9	0.3	78.5
	70代以上	4,491	10.5	8.5	5.5	4.1	0.7	79.9

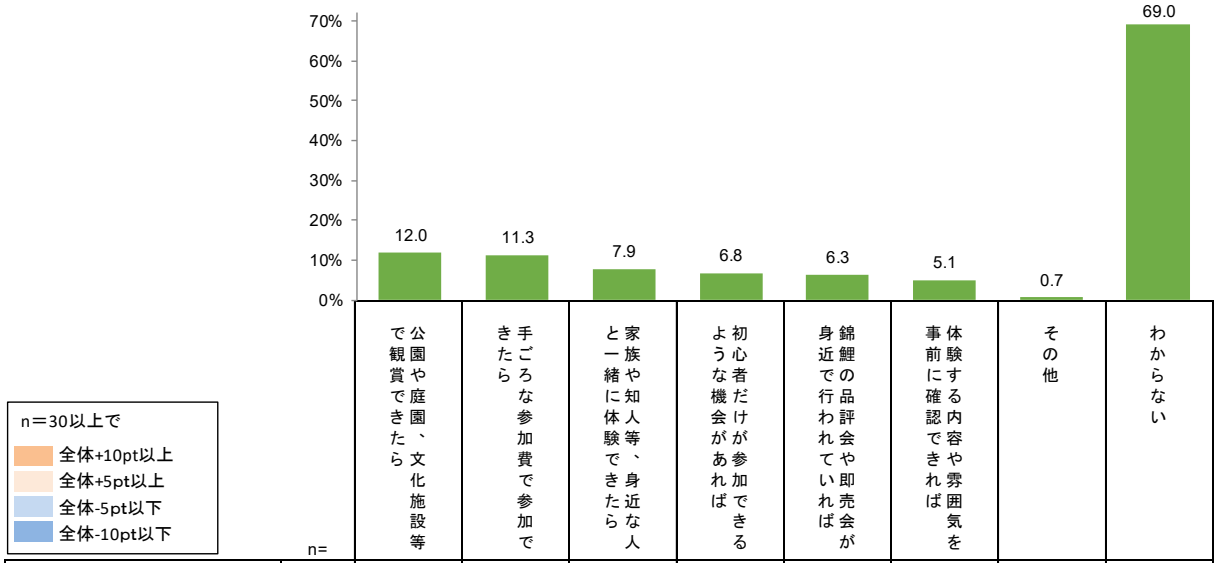
※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ16：参加してみたい錦鯉の観賞の体験内容

（その他の内容）錦鯉を飼育できる環境がない、無料、その日からすぐに始められるセットがあれば良いかも

参加しやすい錦鯉の観賞の体験条件

全体平均で最も回答比率が高いのは、「わからない」の 69.0%で、次いで「公園や庭園、文化施設等で観賞できたら」12.0%、「手ごろな参加費で参加できたら」11.3%となる。



		n=	公園や庭園、文化施設等で観賞できたら	手ごろな参加費で参加できたら	家族や知人等、身近な人と一緒に体験できたら	初心者だけが参加できるような機会があれば	錦鯉の品評会や即売会が身近で行われていれば	体験する内容や雰囲気を事前に確認できれば	その他	わからない
全 体		18,062	12.0	11.3	7.9	6.8	6.3	5.1	0.7	69.0
性別	男	8,635	9.9	11.5	7.4	6.8	6.7	5.1	0.6	70.6
	女	9,281	14.0	11.3	8.4	6.8	5.9	5.1	0.9	67.4
	それ以外／答えたくない	146	5.5	4.8	4.1	2.1	4.1	4.8	-	81.5
年齢	18～20代	2,369	11.4	12.7	11.7	7.5	7.4	5.8	0.3	65.0
	30代	2,370	12.9	13.4	9.9	7.9	7.2	6.1	0.3	64.9
	40代	3,162	13.4	13.8	9.7	8.6	7.1	5.8	0.2	65.7
	50代	2,935	10.3	11.9	7.0	6.5	5.4	5.0	0.6	71.0
	60代	2,735	11.2	9.3	5.7	5.0	5.7	4.5	1.0	72.7
	70代以上	4,491	12.4	8.6	5.6	5.8	5.5	4.1	1.5	72.2

※全体の値を基準に降順並び替え

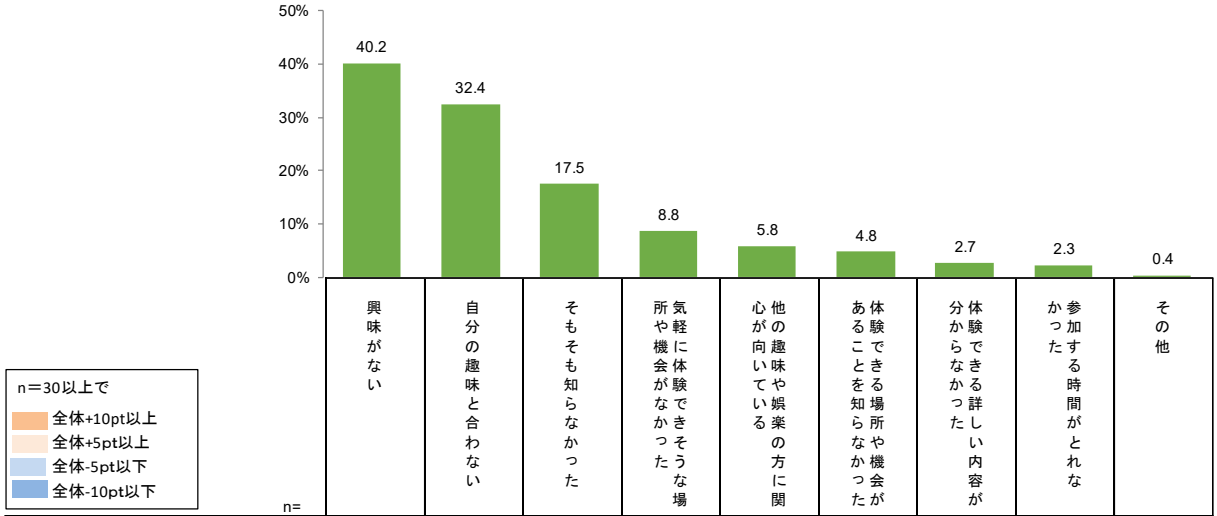
集計表　ＧＱ17：参加しやすい錦鯉の観賞の体験条件

（その他の内容）参加費が無料、バリアフリー、旅行のオプション

錦鯉の観賞体験をしたことがない理由

全体平均で最も回答比率が高いのは、「興味がない」の 40.2%で、次いで「自分の趣味と合わない」32.4%、「そもそも知らなかった」17.5%となった。

全体平均の回答比率と年齢別の回答比率とを比較すると、年齢別では、「興味がない」（40.2%）と回答した者のうち、50 代以上で「興味がない」という回答比率が高くなっている傾向が見られるほか、「自分の趣味と合わない」（32.4%）と回答した者の中では、18～20 代の回答比率が高いことが分かる。



		n=	興味がない	自分の趣味と合わない	そもそも知らなかった	気軽に体験できそうな場所や機会がなかった	他の趣味や娯楽の方に関心が向いている	体験できる場所や機会があることを知らなかった	体験できる詳しい内容が分からなかった	参加する時間がとれなかった	その他
全 体		18,062	40.2	32.4	17.5	8.8	5.8	4.8	2.7	2.3	0.4
性別	男	8,635	38.4	36.4	15.0	9.2	6.3	5.0	3.0	2.7	0.4
	女	9,281	42.2	28.3	20.0	8.4	5.4	4.6	2.4	1.9	0.3
	それ以外／答えたくない	146	19.2	57.5	12.3	7.5	6.2	3.4	2.7	1.4	0.7
年齢	18～20代	2,369	28.7	37.9	20.9	7.3	6.5	5.0	3.5	3.3	0.3
	30代	2,370	35.0	33.8	21.0	8.1	6.2	4.5	3.6	3.1	0.3
	40代	3,162	36.9	31.3	21.1	8.8	4.6	4.8	3.0	2.4	0.2
	50代	2,935	43.2	31.1	17.6	7.3	4.7	4.7	2.0	2.2	0.4
	60代	2,735	48.0	29.0	15.4	8.1	4.8	3.8	1.9	1.5	0.5
	70代以上	4,491	44.6	32.6	12.7	11.4	7.6	5.5	2.5	1.7	0.5

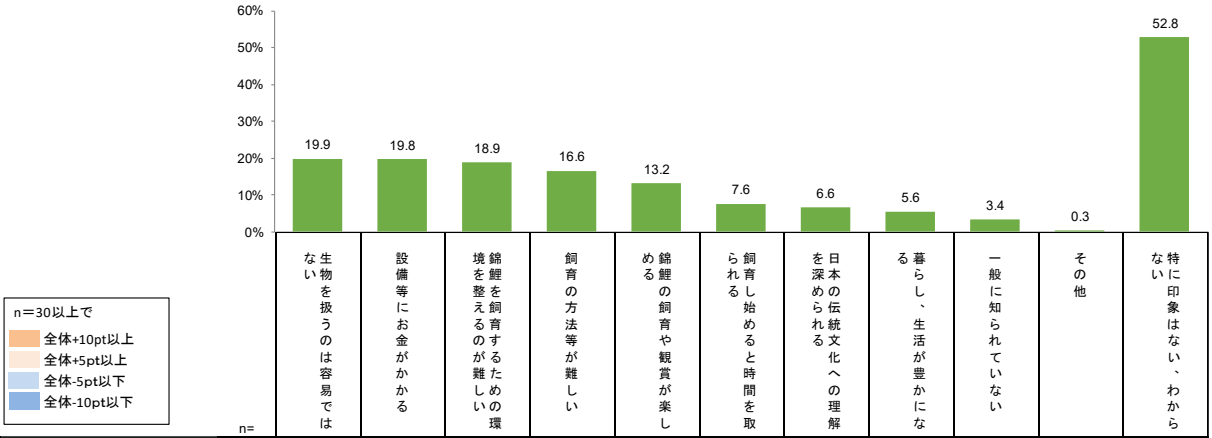
※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ18：錦鯉の観賞体験をしたことがない理由

（その他の内容）飼育できる環境がない、費用が高額、鯉が苦手、子供のときから身近に飼育されていた

錦鯉の飼育や観賞に対する印象やイメージ

全体平均で最も回答比率が高いのは、「特に印象はない、わからない」の 52.8%で、次いで「生物を扱うのは容易ではない」19.9%、「設備等にお金がかかる」19.8%、「錦鯉を飼育するための環境を整えるのが難しい」18.9%、「飼育の方法等が難しい」16.6%と続き、回答者の５割がそもそも印象やイメージを持っていないほか、飼育の難しさ等のイメージが先行している傾向が見られる。



		n=	生物を扱うのは容易ではない	設備等にお金がかかる	錦鯉を飼育するための環境を整えるのが難しい	飼育の方法等が難しい	錦鯉の飼育や観賞が楽しめる	飼育し始めると時間を取られる	日本の伝統文化への理解を深められる	暮らし、生活が豊かになる	一般に知られていない	その他	特に印象はない、わからない
全 体		18,062	19.9	19.8	18.9	16.6	13.2	7.6	6.6	5.6	3.4	0.3	52.8
性別	男	8,635	15.9	17.8	16.0	14.9	11.9	7.1	6.4	5.4	2.7	0.3	57.6
	女	9,281	23.7	21.7	21.8	18.4	14.5	8.1	6.8	5.8	4.1	0.3	48.0
	それ以外／答えたくない	146	12.3	11.6	8.2	6.8	8.2	6.2	4.8	2.7	2.7	-	73.3
年齢	18～20代	2,369	14.7	14.8	13.2	14.6	15.9	7.6	7.0	6.8	4.3	0.2	55.3
	30代	2,370	19.2	19.5	16.3	16.5	14.1	9.8	7.6	6.6	4.6	0.2	52.3
	40代	3,162	19.5	21.2	18.1	17.6	15.3	8.3	7.9	5.5	3.4	0.2	51.0
	50代	2,935	20.0	21.0	18.1	16.4	12.5	7.8	5.9	4.8	2.8	0.2	53.9
	60代	2,735	21.1	20.5	20.8	16.3	10.9	6.6	6.2	5.0	3.2	0.3	53.7
	70代以上	4,491	22.4	20.3	23.3	17.4	11.8	6.5	5.7	5.3	2.8	0.5	51.7

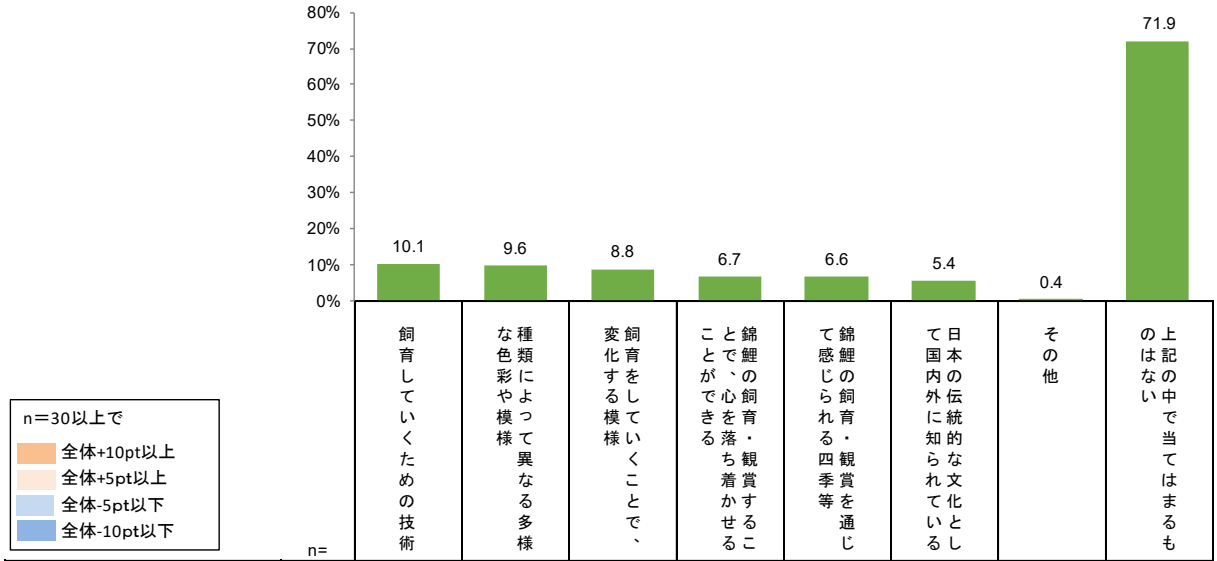
※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ19：錦鯉の飼育や観賞に対する印象やイメージ

（その他の内容）お金持ちの趣味、旅行に行けない、錦鯉そのものの価格が高すぎて手が出ない、見ていると癒される・結構かわいい

錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力

全体平均で最も回答比率が高いのは、「上記の中で当てはまるものはない」の 71.9%で、次いで「飼育していくための技術」10.1%、「種類によって異なる多様な色彩や模様」9.6%、「飼育をしていくことで、変化する模様」8.8%と続いている。



		n=	飼育していくための技術	種類によって異なる多様な色彩や模様	飼育をしていくことで、変化する模様	錦鯉の飼育・観賞することで、心を落ち着かせることができる	錦鯉の飼育・観賞を通じて感じられる四季等	日本の伝統的な文化として国内外に知られている	その他	上記の中で当てはまるものはない
全 体		18,062	10.1	9.6	8.8	6.7	6.6	5.4	0.4	71.9
性別	男	8,635	10.5	8.7	8.2	6.7	6.2	5.2	0.3	73.2
	女	9,281	9.8	10.5	9.5	6.8	7.1	5.7	0.4	70.5
	それ以外／答えたくない	146	6.8	2.7	4.1	5.5	2.1	2.7	-	82.9
年齢	18～20代	2,369	11.3	11.4	12.3	8.1	8.4	5.7	0.1	66.1
	30代	2,370	12.5	11.1	11.1	7.9	8.1	6.5	0.1	67.4
	40代	3,162	12.2	10.7	10.4	7.5	7.7	5.8	0.1	68.4
	50代	2,935	9.4	8.7	8.1	6.2	5.9	4.9	0.3	73.7
	60代	2,735	8.2	8.2	7.0	4.9	5.2	4.4	0.4	76.7
	70代以上	4,491	8.4	8.5	6.1	6.3	5.5	5.3	0.8	75.7

※全体の値を基準に降順並び替え

集計表　ＧＱ20：錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力

（その他の内容）鑑賞はいいが飼育は無理、広い庭の家を持てたら、金魚ぐらいの大きさを気軽に飼えるのであれば、飼育する場所がない中での楽しみ方をレクチャーしてもらえれば

②調査結果に基づく分析と考察

本節では、錦鯉の振興施策の検討を主眼として、前掲の集計結果に加えてクロス集計等も行い、これらの結果について分析を行う。

錦鯉に関して「経験あり」、「参加体験あり」、「未経験」、それぞれの回答者にどのような特徴が見られるのかを分析するため、「居住地」、「職業」、「同居家族」、「世帯年収」、「子供の頃の習い事」等の設問や設問間とのクロス集計を行った。結果は以下のとおりである。

回答者の特性や傾向について

■居住地、職業、同居家族、世帯年収とのクロス集計結果

居住地、職業、同居家族、世帯年収のクロス集計からは、顕著な傾向や特徴等は見られなかった。

居住地・職業・同居家族×錦鯉の経験の有無

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

(%)

		n=	FQ フィルタリング・パート 「経験あり」層	「参加体験あり」層	「未経験」層
全 体		20,000	2.4	7.3	90.3
居住地	北海道	852	1.6	6.6	91.8
	東北	1,385	2.8	7.7	89.5
	関東	7,422	2.3	7.1	90.6
	北陸	816	2.8	7.4	89.8
	東海（中部）	2,349	2.0	7.2	90.8
	近畿	3,247	1.9	7.4	90.7
	中国	1,140	4.0	7.8	88.2
	四国	584	3.1	8.6	88.4
	九州	1,987	3.1	7.5	89.4
	沖縄	218	1.4	2.8	95.9
職業	正規の職員・従業員	6,411	3.1	8.9	88.0
	非正規の職員・従業員	2,803	1.7	8.0	90.2
	自営業主・自由業	1,239	4.3	9.2	86.5
	家族従業者	135	3.7	11.9	84.4
	主婦・主夫	3,987	1.6	5.5	92.8
	学生	512	2.7	14.5	82.8
	リタイア、無職	4,141	2.3	4.7	93.0
	その他	772	1.2	4.8	94.0
同居家族	ひとり暮らし	4,145	2.8	7.0	90.3
	核家族	13,277	2.3	7.3	90.4
	三世代家族	1,179	3.9	8.9	87.2
	上記以外で同居している人がいる	1,399	1.4	6.4	92.2

昨年度の世帯年収×錦鯉の経験の有無

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

		n=	FQ フィルタリング・パート 「経験あり」層	「参加体験あり」層	「未経験」層
全 体		20,000	2.4	7.3	90.3
昨年度の世帯年収	100万円未満	991	3.5	6.2	90.3
	100万円以上～200万円未満	1,325	2.2	6.0	91.8
	200万円以上～300万円未満	2,030	2.1	7.5	90.3
	300万円以上～400万円未満	2,367	2.7	7.6	89.7
	400万円以上～500万円未満	1,937	2.8	8.1	89.1
	500万円以上～600万円未満	1,457	2.2	8.0	89.8
	600万円以上～700万円未満	1,096	2.9	8.9	88.1
	700万円以上～800万円未満	1,024	2.6	9.1	88.3
	800万円以上～900万円未満	702	2.8	11.0	86.2
	900万円以上～1，000万円未満	653	4.3	8.7	87.0
	1，000万円以上	1,525	3.7	9.5	86.8
	分からない	4,893	1.3	4.8	93.9

■子供の頃の習い事とのクロス集計結果

次に、錦鯉の経験・体験の有無についての回答と、「子供の頃の習い事」に関する設問への回答とのクロス集計の結果を示す。

クロス集計を行った結果、錦鯉を飼育した経験ありと回答した者の全体平均（2.4%）と比較すると、「囲碁や将棋」（18.6%）の回答比率が全体平均を大きく上回っているほか、「バレエやダンス」（9.5%）、「伝統芸能や茶道・華道等の芸事」（7.5%）の２項目で全体平均を上回る回答比率となっている。一方、錦鯉の飼育又は観賞体験ありと回答した者の全体平均（7.3%）と比較すると、飼育経験ありと回答した者と近似した傾向が見られ、全体的に習い事を経験している回答比率が高い傾向にある。

子供の頃の習い事×錦鯉の経験の有無

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	FQ フィルタリング・パート 「経験あり」層	「参加体験あり」層	「未経験」層
全 体	20,000	2.4	7.3	90.3
楽器演奏（ピアノやバイオリンなど）や歌唱（コーラスや声楽など）	4,615	3.7	10.0	86.3
バレエやダンス（バレエ、モダンダンスやコンテンポラリーダンスなど）	755	9.5	18.3	72.2
美術（絵画や版画、彫刻、工芸など）	939	7.2	15.3	77.4
伝統芸能や茶道・華道等の芸事	743	7.5	16.7	75.8
囲碁や将棋	221	18.6	23.5	57.9
書道・習字・ペン字、そろばん	8,121	2.9	8.7	88.4
スポーツ・武道	3,661	3.3	12.6	84.1
その他	449	2.2	13.4	84.4
していない	7,852	1.3	3.4	95.3

■スポーツや趣味、娯楽等の活動とのクロス集計結果

次に、スポーツや趣味、娯楽等（以下、趣味・娯楽等）の活動の内容や、これらの活動に費やす時間やお金に関する回答結果とのクロス集計結果と、そこから見ることができる特徴や傾向を示す。

趣味・娯楽等として行っている活動内容とのクロス集計結果からは、これらの活動を「特に何もしていない」と回答した者の全体平均（17.4%）と比較すると、錦鯉の飼育等を経験したことがないと回答した者の回答比率が 18.8%に対し、錦鯉の飼育等の経験がある者では 4.7%、錦鯉の飼育又は観賞体験をしたことがある者では 3.3%と回答比率が低いことから、未経験者と比べて、経験者や体験者は趣味・娯楽等に積極的な関わりを持っている傾向にある。

趣味・娯楽等の活動内容の傾向として、「お花」、「お茶」、「書道」、「邦楽、民謡」、「おどり」といった日本の伝統的な文化に関して、経験者や参加体験者の回答比率が高い一方、未経験者の回答比率は全体平均よりやや低い傾向が見られる。

次に、１ヶ月に使える趣味・娯楽等にかける費用や活動する時間帯、活動に費やす時間とのクロス集計結果を示す。まず、趣味・娯楽等にかける費用については、「5,000 円未満」（49.5%）と回答した者のうち、経験者（30.2%）、参加体験者（35.7%）と全体平均を下回っている。また、平均月２万円以上支出していると回答した全体平均（11.4%）と比較した場合、経験者（23.7%）と参加体験者（17.8%）で全体平均を上回る一方、未経験者（10.4%）は下回る結果となっており、経験者や参加体験者の方が、趣味・娯楽等に関する月額の費用をかけている傾向が見られる。

趣味・娯楽等の活動を行う時間帯を見ると、「平日夕方」（15.8%）を回答した者のうち、経験者（23.5%）、参加体験者（20.2%）の回答比率が全体平均を上回っている。

趣味・娯楽等に費やす月平均の時間を見ると、「１時間未満」（22.9%）と回答した者のうち、経験者（15.3%）と参加体験者（17.2%）の回答比率が低い傾向にあるほか、経験者・参加体験者共に月２時間以上の項目への回答比率が高いことがうかがえる。

錦鯉の経験の有無×趣味・娯楽等の活動状況

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	共通設問1 趣味・余暇活動の参加状況						
		動画鑑賞（レンタル、配信を含む）	邦楽、民謡	書道	お茶	お花	おどり（日舞など）	特に何もしていない
全 体	20,000	13.6	1.5	1.7	1.6	1.8	0.4	17.4
「経験あり」層	487	12.5	4.1	4.9	5.1	5.5	2.3	4.7
「参加体験あり」層	1,451	21.4	3.9	5.4	5.4	4.5	1.4	3.3
「未経験」層	18,062	13.0	1.2	1.3	1.2	1.5	0.2	18.8

※共通設問１は、分析で取り上げた選択肢のみ抜粋して掲載している。（以下同様）

錦鯉の経験の有無×趣味・娯楽等に１ヶ月に使える費用

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	共通設問2　1ヶ月に使える趣味・余暇費用											
		5,000円未満	15,000円以上～	11,000円以上～	21,000円以上～	22,000円以上～	32,000円以上～	33,000円以上～	43,000円以上～	44,000円以上～	54,000円以上～	50,000円以上	合計20,000円以上
全　体	16,527	49.5	22.9	10.2	5.9	3.1	3.0	1.4	0.6	0.4	0.6	2.3	11.4
「経験あり」層	464	30.2	21.6	15.7	8.8	6.5	5.0	2.6	1.9	0.6	0.4	6.7	23.7
「参加体験あり」層	1,403	35.7	25.9	12.4	8.2	5.6	4.3	2.2	0.9	0.9	1.1	2.7	17.8
「未経験」層	14,660	51.4	22.7	9.8	5.6	2.7	2.8	1.2	0.6	0.3	0.6	2.1	10.4

錦鯉の経験の有無×趣味・娯楽等を行う時間帯

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	共通設問3　1ヶ月に使える趣味・余暇時間帯							
		平日午前	平日午後	平日夕方	平日夜間	休日午前	休日午後	休日夕方	休日夜間
全　体	16,527	30.6	30.1	15.8	18.8	34.9	43.7	21.2	15.5
「経験あり」層	464	33.6	33.0	23.5	19.8	34.9	38.4	21.1	11.4
「参加体験あり」層	1,403	26.4	26.4	20.2	21.5	37.6	41.6	23.4	15.6
「未経験」層	14,660	30.9	30.3	15.1	18.5	34.7	44.1	21.0	15.7

錦鯉の経験の有無×趣味・娯楽等に費やす時間

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	共通設問4　趣味・余暇活動を行う時間										
		1時間未満	21時間未満以上～	32時間未満以上～	43時間未満以上～	54時間未満以上～	65時間未満以上～	76時間未満以上～	87時間未満以上～	98時間未満以上～	109時間未満以上～	10時間以上
全　体	16,527	22.9	23.5	13.7	7.0	4.5	4.1	1.7	1.9	0.9	1.3	18.5
「経験あり」層	464	15.3	22.2	14.9	9.5	5.6	4.7	2.8	3.0	1.1	1.3	19.6
「参加体験あり」層	1,403	17.2	23.7	16.6	8.4	5.7	5.6	2.1	2.1	1.2	1.4	16.0
「未経験」層	14,660	23.7	23.5	13.3	6.7	4.4	4.0	1.7	1.8	0.9	1.3	18.7

■消費行動に関する意識や価値観に関するクロス集計結果

消費行動に関する意識や価値観の項目と錦鯉の経験・体験の有無とのクロス集計結果を示す。

「経験あり」と回答した者の場合、「リスクはできるだけ避けたい」と「上記であてはまるものはない」を除いた全ての意見で回答比率が全体平均を上回っており、「周りに合わせるより、自分の考えに基づいてものごとを判断したい」（22.6%）の回答比率が 35.3%と、全体平均を大きく上回る回答比率となっている。これに対し「参加体験あり」と回答した者は、「上記であてはまるものはない」を除いた全項目で全体平均を上回り、「チャンスと感じたら逃したくない」（20.2%）の項目では、32.5%と回答比率を大きく上回ると共に、「経験あり」の数値（26.5%）も上回る回答比率となって

いる。

一方、「未経験」と回答した者の場合、「上記であてはまるものはない」以外の項目で回答比率が全体平均を下回っており、経験者、参加体験者、未経験者それぞれの消費行動に対する価値観に差異があることが分かる。

錦鯉の経験の有無×消費行動に対する価値観

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	共通設問5 消費行動に対する価値観														
		自分の考えを主張するより、周りとの和を尊重したい	周りに合わせるより、自分の考えに基づいてものごとを判断したい	チャンスと感じたら逃したくない	リスクはできるだけ避けたい	家族や友人・知人の役に立ちたい	環境問題・社会課題の解決の役に立ちたい	困っている人・助けが必要な人の役に立ちたい	周りの人から注目されたい	集まりやイベントの参加者同士の一体感が大事だ	その時・その場でしか得られない体験をしたい	流行りのものは試してみたい	流行っていなくても、自分が面白いと思ったものは試してみたい	買ったものや、気持ちを発信したい	自分が発信したものに反応が欲しい	上記であてはまるものはない
全 体	20,000	25.6	22.6	20.2	41.9	24.9	10.6	19.6	2.4	5.4	13.6	3.9	26.8	3.1	3.1	22.0
「経験あり」層	487	32.9	35.3	26.5	40.2	30.4	17.2	28.1	4.9	7.2	18.5	6.2	30.2	6.8	5.1	6.8
「参加体験あり」層	1,451	32.9	30.9	32.5	43.3	32.5	18.4	28.3	5.5	9.7	23.0	9.2	34.3	7.2	5.9	5.1
「未経験」層	18,062	24.8	21.6	19.0	41.9	24.1	9.8	18.7	2.1	5.0	12.8	3.5	26.1	2.7	2.8	23.7

■普段接するメディアとのクロス集計結果

回答者が普段接するメディアと錦鯉の経験・体験の有無とのクロス集計結果を示す。

「経験あり」と回答した者の場合、「テレビ（NHK)」、「CATV や衛星放送」、「ラジオ」、「新聞」、「雑誌・タウン誌」で回答比率が全体平均を５％以上上回っており、テレビ（NHK）や CATV、ラジオや新聞雑誌等の紙媒体を中心としたメディアに普段から接触している傾向が見られる。

次に「参加体験あり」と回答した者の場合、「テレビ（民放)」を除く全てのメディアにおいて全体平均よりも回答比率が高い傾向が見られ、動画投稿サイトや SNS 等にも普段から接触しており、幅広い媒体に接触していると推察される。

一方、「未経験」と回答した者の場合、ほとんどのメディアにおいて回答比率が低く、「上記のメディアはあまり見ていない」（11.7%）と「テレビ（民放)」（69.9%）のみ全体平均の回答比率を上回るという結果になった。

錦鯉の経験の有無×接触メディア

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	共通設問6 接触メディア														
		テレビ（民放の地上波・BS）	テレビ（NHKの地上波・BS）	CATVやCHANNEL衛星放送の	ラジオ（インターネット経由を除く）	新聞（電子版含む）	雑誌・タウン誌（インターネット経由を除く）	インターネットのウェブサイト・ニュースサイト（アプリ経由を含む）	動画投稿サイト（YouTube、TikTokなど）	SNS（TwitterLINE、Facebook、Instagram、mixi、Facebookなど）	紙の書籍	電子書籍	紙のマンガ／マンガ雑誌	電子版のマンガ	有料動画サイト（Amazon Prime Video、Netflix、Huluなど）	上記のメディアはあまり見ていない
全 体	20,000	69.5	41.7	10.2	14.3	28.5	7.5	46.1	33.7	28.5	20.4	6.0	6.8	6.4	11.9	10.8
「経験あり」層	487	66.5	52.6	18.5	23.2	37.6	14.4	48.0	32.4	28.5	23.8	8.0	9.9	7.2	14.2	1.8
「参加体験あり」層	1,451	66.0	46.2	14.5	19.8	31.4	14.9	49.1	43.2	38.0	26.1	9.6	12.2	11.0	18.6	2.7
「未経験」層	18,062	69.9	41.1	9.6	13.6	28.0	6.8	45.8	32.9	27.7	19.8	5.6	6.3	6.0	11.3	11.7

以上のクロス集計結果と、「①単純集計の結果について」で示した回答者の年齢・性別とのクロス集計の結果も踏まえ、錦鯉の「経験あり」「参加体験あり」「未経験」、それぞれの回答者の特徴や傾向は以下のとおりになる。

１）錦鯉の飼育等の経験があると回答した者の傾向

男女別で見た場合、女性よりも男性の方が飼育等の経験をした者の総数がやや多いのが特徴の一つといえる。年齢別で見た場合、70 代以上が最も多く、次いで 18～20 代、60 代と続く。

次に経験者は、子供の頃の習い事として伝統的な文化に係る分野のうち、とりわけ囲碁や将棋を習っていたと回答している者が多い傾向にある。また、趣味・娯楽等の活動に積極性がありなおかつ伝統的な文化に係る趣味への嗜好性の高さがうかがえる。続いて、消費行動への意識については、周りとの協調や一体感を大事にしつつも自身の考え方で物事を判断し、身近な人や社会の役に立ちたいという価値観を持っている者が全体平均と比べると多い傾向が見える。また、普段のメディア接触については NHK や CATV やラジオ、新聞等のメディア媒体への接触率が高い傾向にある。

２）錦鯉の飼育及び観賞体験に参加したことがあると回答した者の傾向

男女別で見た場合、女性の方が男性よりも参加体験者の総数が少し多いのが特徴の一つといえる。年齢別で見た場合、18～20 代が最も多く、次いで 40 代、30 代と続く。

また、子供の頃の習い事の経験があるとの回答比率が高い傾向にあり、錦鯉の飼育等の経験者と比べると日本の伝統的な文化のみならず、バレエやダンスについても高い回答比率となっている。また、趣味・娯楽等の活動に対して積極的な傾向にあり、伝統的な文化への関わりも高い傾向がうかがえる。

消費行動への意識については、錦鯉の飼育等を経験した者と近似した傾向があるが、「チャンスと感じたら逃したくない」という項目では、経験者よりも高い回答比率を示している。また、普段のメディア接触については、全体平均と比べて回答比率が大きく上回るものはないが、普段から幅広くメディアに接触している傾向にある。

３）錦鯉の飼育等は未経験であると回答した者の傾向

男女別、年齢別等では顕著な特徴は見られなかった。

子供の頃の習い事の経験については、経験がないとの回答比率が高い傾向にあり、趣味・娯楽等の活動に対して、「特に何もしていない」という回答比率が全体平均を上回っており、積極的に趣味・娯楽等を行うことがない回答者が多い傾向にある。また、消費行動への意識については、「上記であてはまるものはない」という回答が全体平均を上回っており、特徴的な傾向は見られない。メディア接触については、民放のテレビが全体平均をわずかに上回る程度で、その他のメディア接触率については全体平均をやや下回っていることから、接触率が高い傾向にあるとは言い難い。

未経験者の傾向と特徴

次に、上記の属性分析を踏まえ、「経験あり」「参加体験あり」「未経験」、それぞれの回答者ごとに設けた設問の回答結果についてクロス集計を行い、回答者の特徴について分析を行う。

はじめに、錦鯉の飼育や観賞をしたことがないと回答している者の設問の分析を行う。上述の回答者属性に関する分析では、「未経験」と回答した者については際立った特徴や傾向は見いだせなかった。加えて、今後の振興施策を考える上で、「未経験」と回答した者が、なぜ錦鯉の観賞を経験してこなかったのか、また、錦鯉の飼育や観賞をすることに対してどのような意識を持っているのか、どのような体験方法や周知の実施をすれば参加体験等に繋げていく可能性を見いだすことができるのか、その検討のために分析を行う必要がある。

■未経験層の体験機会への参加意向

未経験と回答した者のうち、錦鯉の観賞体験をしてみたいという意向を持つ回答者、体験意向がない回答者にはどのような特徴があるのか。趣味・娯楽等の活動内容、消費意識、メディア接触の設問とＧＱ16「参加してみたい錦鯉の観賞の体験内容」とのクロス集計を行い、回答者の特徴について分析を行う。

ＧＱ16 では、体験内容として設定した選択肢にはあてはまるものはないと回答率の 75.2%が回答しており、残りの 24.8%は、体験内容によっては錦鯉の観賞体験に参加してみたいという意向を持っていると推察される。

まず、錦鯉の観賞体験に参加してみたいとの意向を示した回答者について、クロス集計結果からその特徴を確認する。趣味・娯楽等の活動とのクロス集計結果を見ると、提示した体験内容を選択している者の場合、趣味・娯楽等の項目のほとんどで全体平均を少し上回る回答比率を示しており、趣味・娯楽等の活動に対して決して消極的ではないことが推察される。

消費行動に対する価値観とのクロス集計結果からは、提示した体験内容を選択している者は、消費行動に関する価値観のほとんどの項目で、全体平均を上回る回答比率を示しており、明確な意見や嗜好性があることがうかがえる。

普段からのメディア接触とのクロス集計結果を見ると、提示した体験内容を選択している者は、様々なメディアへの回答比率が全体平均を上回っており、「参加体験あり」と回答した者と近似した傾向、つまり、普段から幅広くメディアに接触している傾向が見て取れる。

次に、錦鯉の観賞体験について参加の意向がない者について、その特徴を確認する。ＧＱ16 で「上記の中で当てはまるものはない」と回答した者のうち 23.1%は、趣味・娯楽等の活動について「特に何もしていない」と回答しており、消費行動に関する設問でも、メディア接触についても、当てはまらない、特にしていないという選択肢を選んでおり、全体平均を上回る回答比率を示している。このように、錦鯉の観賞体験に参加する意向がない者の特徴として、趣味・娯楽活動やメディアへの接触に必ずしも積極的とはいえず、消費についての意識・意見をあまり明確に持っていない傾向が確認できる。

参加してみたい錦鯉の観賞の体験内容×趣味・娯楽等の活動状況

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

(%)

	n=	共通設問1 趣味・余暇活動の参加状況						
		動画鑑賞（レンタル、配信を含む）	邦楽、民謡	書道	お茶	お花	おどり（日舞など）	特に何もしていない
全 体	18,062	13.0	1.2	1.3	1.2	1.5	0.2	18.8
錦鯉の種類や飼育の仕方、観賞の仕方を教えてくれる	2,294	21.4	2.8	2.3	2.0	2.2	0.1	4.9
錦鯉の歴史や意義を教えてくれる	1,244	21.3	3.0	2.7	2.5	2.7	0.2	4.1
錦鯉の飼育で必要となる設備や環境等を詳しく教えてくれる	1,416	22.2	3.2	2.7	2.8	2.3	0.4	5.2
普段の生活の中で、錦鯉の飼育や観賞をどのように楽しめるのか教えてくれる	1,706	19.2	2.4	2.8	2.3	3.2	0.3	5.7
その他	65	15.4	-	-	-	1.5	-	4.6
上記の中で当てはまるものはない	13,579	11.3	0.9	1.1	1.0	1.2	0.2	23.1

参加してみたい錦鯉の観賞の体験内容×消費行動に対する価値観

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

(%)

	n=	共通設問5 消費行動に対する価値観														
		自分の考えを主張するよりも、周りとの和を尊重したい	周りに合わせるよりも、自分の考えに基づいてものごとを判断したい	チャンスと感じたら逃したくない	リスクはできるだけ避けたい	家族や友人・知人の役に立ちたい	環境問題・社会課題の解決の役に立ちたい	困っている人・助けが必要な人の役に立ちたい	周りの人から注目されたい	集まりやイベントの参加者同士の一体感が大事だ	その時・その場でしか得られない体験をしたい	流行りのものは試してみたい	流行っていなくても、自分が面白いと思ったものは試してみたい	買ったものや、気持ちを発信したい	自分が発信したものに反応が欲しい	上記であてはまるものはない
全 体	18,062	24.8	21.6	19.0	41.9	24.1	9.8	18.7	2.1	5.0	12.8	3.5	26.1	2.7	2.8	23.7
錦鯉の種類や飼育の仕方、観賞の仕方を教えてくれる	2,294	40.5	30.4	32.2	53.7	38.4	18.5	33.0	3.9	9.1	24.8	6.4	41.0	5.5	5.3	3.4
錦鯉の歴史や意義を教えてくれる	1,244	37.6	31.7	38.3	48.9	36.2	23.5	32.4	5.9	10.8	25.5	9.6	37.4	8.2	7.6	2.8
錦鯉の飼育で必要となる設備や環境等を詳しく教えてくれる	1,416	34.5	31.8	37.6	54.6	39.4	20.7	34.1	6.6	11.0	26.1	8.9	40.0	7.8	7.1	3.0
普段の生活の中で、錦鯉の飼育や観賞をどのように楽しめるのか教えてくれる	1,706	36.5	29.0	33.8	52.8	38.2	21.3	33.1	5.4	11.2	26.6	7.7	40.9	7.5	6.0	3.6
その他	65	33.8	35.4	23.1	63.1	38.5	16.9	38.5	3.1	9.2	10.8	6.2	40.0	4.6	7.7	9.2
上記の中で当てはまるものはない	13,579	21.2	19.8	15.4	40.0	21.3	7.7	15.8	1.4	3.9	10.1	2.5	23.6	1.9	2.1	30.2

参加してみたい錦鯉の観賞の体験内容×接触メディア

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

(%)

	n=	共通設問6 接触メディア														
		テレビ（民放の地上波・BS）	テレビ（NHKの地上波・BS）	CATVや衛星放送のチャンネル	ラジオ（インターネット経由を除く）	新聞（電子版含む）	雑誌・タウン誌（インターネット経由を除く）	インターネットのウェブサイト・ニュースサイト（アプリ経由を含む）	動画投稿サイト（YouTube、TikTokなど）	SNS（Twitter、LINE、Instagram、Facebookなど）	紙の書籍	電子書籍	紙のマンガ／マンガ雑誌	電子版のマンガ	有料動画サイト（Amazon Prime Video、Netflix、Huluなど）	上記のメディアはあまり見ていない
全 体	18,062	69.9	41.1	9.6	13.6	28.0	6.8	45.8	32.9	27.7	19.8	5.6	6.3	6.0	11.3	11.7
錦鯉の種類や飼育の仕方、観賞の仕方を教えてくれる	2,294	79.6	51.2	11.6	17.7	33.8	11.4	57.9	46.5	40.4	29.0	9.5	11.3	11.4	16.8	1.8
錦鯉の歴史や意義を教えてくれる	1,244	76.5	52.3	12.9	18.6	31.8	12.5	57.3	47.7	42.2	30.0	11.9	12.2	11.5	17.8	1.4
錦鯉の飼育で必要となる設備や環境等を詳しく教えてくれる	1,416	75.7	49.4	13.4	19.7	31.0	15.0	56.4	49.2	40.2	28.6	10.3	13.3	12.1	16.7	2.0
普段の生活の中で、錦鯉の飼育や観賞をどのように楽しめるのか教えてくれる	1,706	75.6	48.2	12.2	17.7	32.6	12.0	54.6	44.3	39.6	28.1	8.3	11.0	10.0	15.7	2.2
その他	65	83.1	53.8	13.8	10.8	41.5	6.2	58.5	40.0	33.8	23.1	6.2	1.5	3.1	16.9	-
上記の中で当てはまるものはない	13,579	68.2	39.3	9.0	12.8	27.4	5.6	44.0	30.1	24.9	18.3	4.8	5.3	5.0	10.3	14.8

■参加したい体験機会別に見た参加条件

次に、錦鯉の飼育や観賞を経験したことがないと回答した者が体験したい内容、また、体験条件にはどのような特徴があるのかについて、ＧＱ16「参加してみたい錦鯉の観賞の体験内容」の各種の参加体験とＧＱ17「参加しやすい錦鯉の観賞の体験条件」の回答結果をクロス集計し、未経験者の考える体験しやすい内容と条件の傾向について分析を行う。

まず、ＧＱ16 で「上記の中で当てはまるものはない」と回答した者の 88.9%が、ＧＱ17 で「わからない」と回答している。一方、実際に希望する体験機会がある層では、「わからない」という回答は極めて少ない。

具体的な体験内容を選択した者の参加条件への回答比率は、全体平均より非常に高いことが分かる。その中でも、「手ごろな参加費で参加できたら」「公園や庭園、文化施設等で観賞できたら」の２項目はいずれの観賞体験の条件でも回答比率が高く、重視される傾向にあることが確認できる。

以上のように、錦鯉の飼育や観賞体験について未経験であると回答した者のうち、ＧＱ16 で具体的な体験内容を答えた者の多くは、ＧＱ17 の体験を行う際の条件についても具体的な条件を選択していることから、体験内容及び条件が明確な方が未経験者への参加体験を促しやすいものと推察できる。

参加してみたい錦鯉の観賞の体験内容×参加しやすい錦鯉の観賞の体験条件

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	GQ17 参加しやすい錦鯉の観賞体験の条件							
		家族や知人等、身近な人と一緒に体験できたら	錦鯉の品評会や即売会が身近で行われていれば	手ごろな参加費で参加できたら	公園や庭園、文化施設等で観賞できたら	体験する内容や雰囲気を事前に確認できれば	初心者だけが参加できるような機会があれば	その他	わからない
全 体	18,062	7.9	6.3	11.3	12.0	5.1	6.8	0.7	69.0
錦鯉の種類や飼育の仕方、観賞の仕方を教えてくれる	2,294	36.5	26.6	45.5	38.1	18.2	21.8	0.1	8.4
錦鯉の歴史や意義を教えてくれる	1,244	31.8	34.8	48.5	42.4	24.9	23.7	0.3	6.5
錦鯉の飼育で必要となる設備や環境等を詳しく教えてくれる	1,416	28.2	32.6	53.2	48.0	27.5	26.9	0.2	5.8
普段の生活の中で、錦鯉の飼育や観賞をどのように楽しめるのか教えてくれる	1,706	24.6	25.5	44.4	44.4	27.4	29.9	0.2	6.8
その他	65	7.7	3.1	7.7	15.4	6.2	7.7	47.7	32.3
上記の中で当てはまるものはない	13,579	1.8	0.9	2.4	4.4	1.0	2.6	0.7	88.9

■これまで錦鯉を経験してこなかった理由と参加したい体験機会

錦鯉の飼育や観賞を経験したことがないと回答した者には、これまでに観賞体験をしてこなかった理由（ＧＱ18）に関する問いを設けている。この設問を設けた理由として、未経験者のうちには、体験機会が身近になかった者、特定の事情で体験することができなかった者、そもそも全く興味がなかった者等、回答者によって個々の事情や理由があることを想定したためである。

既に、回答者の中には興味関心がなかったわけではなく、体験できなかった事情や理由があると回答した者がいることがＧＱ18 の回答結果から判明しているが、体験できなかった事情や理由があると回答した者はどのような体験機会があれば参加しやすいと考えているのか。ＧＱ18 の回答と参加してみたい体験内容を問う設問（ＧＱ16）のクロス集計を行い、その傾向を分析する。

まず、錦鯉の観賞体験をこれまでしてこなかった理由として「興味がない」が回答比率として最も高く（40.2%）、次点で「自分の趣味と合わない」（32.4%）、「そもそも知らなかった」（17.5%）と続いている。

ＧＱ16 とのクロス集計の結果を見ると、ＧＱ16 で「上記の中で当てはまるものはない」と回答した者では、ＧＱ18 の「興味がない」（44.8%）、「自分の趣味と合わない」（40.3%）の回答比率が全体平均よりも高いことが分かる。

一方、ＧＱ16 で具体的な体験内容についての選択肢を回答した者の場合、「興味がない」、「自分の趣味と合わない」の回答比率が全体平均よりも著しく低く、体験できなかった事情の回答比率が高い。また、「そもそも知らなかった」と回答した者の中でも、体験内容に関する回答比率は全体平均よりも高いことから、機会があれば参加体験を希望する層が一定数いると推察できる。

また、ＧＱ18 の「気軽に体験できそうな場所や機会がなかった」、「体験できる場所や機会があることを知らなかった」の回答比率が全体平均を大きく上回っており、体験機会そのものが身近になかった場合や、体験機会があっても体験機会を希望する者に情報として届いていなかったことが回答結果から推察される。

参加してみたい錦鯉の観賞の体験内容×錦鯉の観賞体験をしたことがない理由

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	GQ18 錦鯉を観賞体験したことがない理由								
		そもそも知らなかった	興味がない	気軽に体験できそうな場所や機会がなかった	参加する時間がとれなかった	体験できる場所や機会があることを知らなかった	体験できる詳しい内容が分からなかった	他の趣味や娯楽の方に関心が向いている	自分の趣味と合わない	その他
全 体	18,062	17.5	40.2	8.8	2.3	4.8	2.7	5.8	32.4	0.4
錦鯉の種類や飼育の仕方、観賞の仕方を教えてくれる	2,294	31.3	27.4	29.4	5.1	15.3	8.5	10.5	7.1	0.2
錦鯉の歴史や意義を教えてくれる	1,244	27.1	25.4	31.5	11.4	17.4	10.9	9.7	7.0	0.4
錦鯉の飼育で必要となる設備や環境等を詳しく教えてくれる	1,416	22.5	23.9	34.3	12.2	23.5	14.5	13.0	9.6	0.4
普段の生活の中で、錦鯉の飼育や観賞をどのように楽しめるのか教えてくれる	1,706	23.0	22.1	30.5	8.2	20.4	12.9	15.4	10.7	0.3
その他	65	7.7	63.1	9.2	4.6	7.7	1.5	10.8	33.8	15.4
上記の中で当てはまるものはない	13,579	14.8	44.8	2.8	0.6	1.3	0.8	4.2	40.3	0.4

■「未経験」層と「参加体験あり」層の錦鯉へのイメージの違い

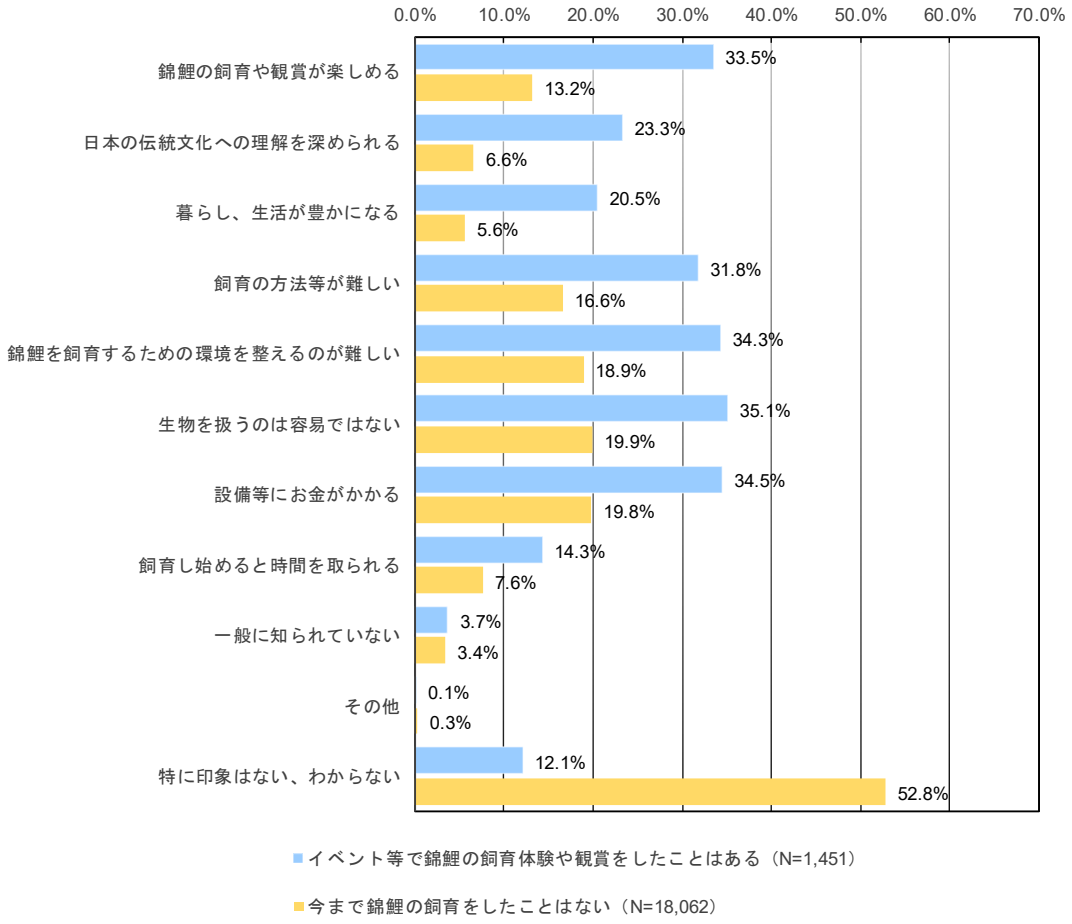
錦鯉の飼育をしたことがないと回答した者が持つ錦鯉の飼育や観賞に対して持っているイメージや印象について、ＧＱ19 の結果では、「特に印象はない、わからない」（52.8%）、「生物を扱うのは容易ではない」（19.9%）、「設備等にお金がかかる」（19.8%）、「錦鯉を飼育するための環境を整えるのが難しい」（18.9%）、「飼育の方法等が難しい」（16.6%）、「錦鯉の飼育や観賞が楽しめる」（13.2%）となっており、そもそも具体的なイメージを持っていない者が多く、飼育自体が難しいという印象が先行している。この要因は、回答者が錦鯉の飼育を経験したことがなく、具体的な内容や体験を経た上での印象を持っていないためと考えられる。

下のグラフは、錦鯉の飼育や観賞体験に参加したことがあると回答した者のイメージ（ＧＱ14）

と未経験者のイメージ（ＧＱ19）の回答結果を比較したものである。

未経験者で最も回答比率が高かった「特に印象はない、わからない」の回答比率は参加体験を経ることで大幅に減少していると共に、プラスイメージもマイナスイメージも大きく増加している。このような比較から、飼育や観賞体験を行うことで、錦鯉の飼育に関する難しさについても、錦鯉の飼育の楽しさや日本の伝統的な文化であることも明確にイメージできるようになっていることが分かる。

未経験者と参加体験者の錦鯉に対する印象やイメージの違い



■「未経験」層と「参加体験あり」層、「経験あり」層の錦鯉の魅力についての評価の違い

未経験者が錦鯉に対する印象やイメージを具体的に描けないように、錦鯉の魅力に対する設問（ＧＱ８、ＧＱ15、ＧＱ20）にも同様の傾向が見られる。

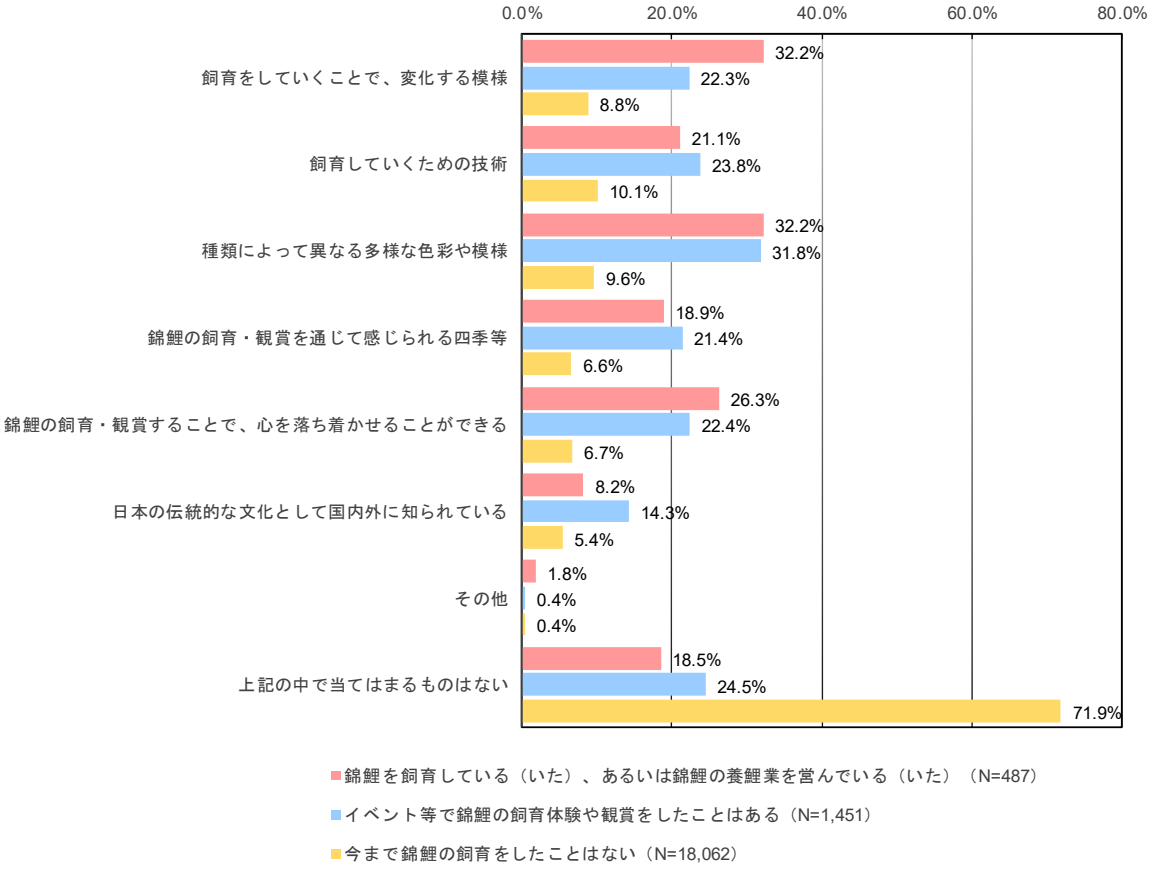
下のグラフを見ても分かるように、錦鯉の飼育を経験したことがないと回答した者の７割が、「上記の中で当てはまるものはない」（71.9%）と回答し、経験者と参加体験者の場合の回答比率と比較しても大きな差があることが分かる。

このことは、ほかの魅力についてもいえ、参加体験者と未経験者を比較すると全ての魅力に対して回答比率が大きく伸びていることが分かる。また、参加体験者と経験者との魅力等についての回答比率を比較すると、「飼育をしていくことで、変化する模様」や「錦鯉の飼育・観賞することで、心を落ち着かせることができる」といった、実際に飼育し観賞を続けていくことで理解できると思

われる魅力に対する回答比率が高くなっていることが分かる。

以上のように回答比率に大きな差が見られることから、イメージや印象と同じく実際に体験することの重要性がうかがえる。

各回答者における錦鯉に対する興味関心や魅力の違い



上記のクロス集計の結果から、錦鯉の飼育をしたことがないと回答した者の特徴や傾向をまとめると、以下のとおりである。

１）錦鯉に興味関心がある者の属性に関する傾向と特徴

錦鯉の飼育をしたことがないと回答した者のうち、参加体験の意向を示さない者が 75.2%いる一方、24.8%が体験内容に関する選択肢をいずれか選択しており、未経験者の中でも機会があれば参加したいという意向を持つ者がいる。

これら参加意向を示す者は、参加意向を示していない回答者と比べた場合、趣味・娯楽等の活動に対して消極的ではない者であり、消費行動への明確な意見を有し、普段から幅広いメディアに触れている傾向にある。

２）未経験者が考える参加しやすい体験の条件と内容についての傾向と特徴

ＧＱ16、ＧＱ17 のクロス集計の結果から、未経験者のうち、参加体験をしたいとの意向を示した者の約 40～50%が、行きやすい場所と手頃な参加費用の２点を参加体験の条件としてとり

わけ重視している傾向が見えてくる。

また、ＧＱ16 とＧＱ18 とのクロス集計の結果からは、体験できなかった事情・理由として「そもそも知らなかった」、「気軽に体験できる場所がなかった」「体験できる場所や機会があることを知らなかった」と回答している割合が多く、これらの事情や理由を回答した者は、観賞体験へ具体的な内容を回答していることから、参加意向を持つ者の多くが、錦鯉自体を知らなかったり、錦鯉の観賞体験等ができる機会を得ることができなかったりしていたことが分かる。

３）錦鯉の飼育に対する印象や魅力に関する傾向と特徴

未経験者の場合、錦鯉に対する印象や魅力について、未経験であるが故に、具体的なイメージや魅力は分からないという当然の結果が導かれた。その点を踏まえて、経験者や参加体験者との印象や魅力への回答の差を見ると、参加体験や経験を重ねることで、具体的な印象やイメージ、魅力を描くことができるようになること、また、実際に飼育を行った者は、変化していく錦鯉の模様や飼育や観賞を行うことで心を落ち着かせることができるといった魅力の回答比率が高くなっていることが分かる。

参加体験ありと回答した者の傾向と特徴

次に、参加体験ありと回答した者の回答傾向を分析する。錦鯉に触れ合ったり、観賞したりしたことがあると回答した者は、何らかのきっかけがあって観賞等の体験を行う機会を得ており、しかし、自ら飼育を行うまでには至ってはいない者と捉えることができる。ではどのような状況で体験機会を得たのか、また、飼育を行うまでに至らない事情や理由等があるのかをクロス集計を用いてその傾向と特徴を分析する。

■参加体験者の体験のきっかけと機会

体験のきっかけ（ＧＱ９）を問う設問の結果では、「学校や職場で飼育されているものや、公園や庭園、文化施設等で行われているイベントで見た」（45.0%）と最も高く、次いでテレビや映画などのメディアで知ったとの回答が 21.6%、親族等が飼育していたとの回答が 20.3%と続き、参加体験者の多くは自身の身近な場所であったり公園等で飼育されている錦鯉を観賞していたりすることが分かる。また、体験の場（ＧＱ10）については公園や庭園等での観賞（54.9%）、次いで学校や職場での観賞（25.3%）と続いている。

体験したきっかけと体験機会の関係性の特徴や傾向を明らかにするため、ＧＱ９とＧＱ10 のクロス集計の結果が下の表である。体験したきっかけについて、最も回答比率が高かった、学校や職場、公園や庭園等で観賞するきっかけを得た（45.0%）と回答した者のうち、「公園や庭園、文化施設等でのイベント」（60.4%）、「学校や職場で飼育されていた」（50.4%）の２項目で回答比率が高い。そのほか、「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた」（20.3%）と回答した者では、「自宅」（57.7%）のほかに「錦鯉を扱う団体や業者が主催する品評会や即売会」（32.0%）の回答比率も高いことが分かる。また、趣味や教養として関心を持った者や、テレビ等のメディアで知った者、友人・知人に誘われた者の場合、品評会や即売会で観賞する機会を得ており、錦鯉を観賞する機会の一つとして品評会等が役割を果たしていることが分かる。

このような結果から、学校や職場、公園等で飼育されていた錦鯉を観賞等の機会を得た回答者が比率として高い傾向にある。また、趣味や教養としてあるいはテレビ等で知ったり、友人・知人に誘われたりして興味を持った者については、品評会や即売会が錦鯉を観賞する機会や場としての役割を果たしているものと推察される。

錦鯉に触れ合ったり観賞したりした場×錦鯉に触れ合ったり観賞したりしたきっかけ

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	GQ9錦鯉に触れ合ったり観賞したりしたきっかけ								
		親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた	親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた	友人、知人などが錦鯉を飼育していて、勧められた・誘われた	学校や職場で飼育されているものや、公園や庭園、文化施設等で行われているイベントで見た	テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	趣味や教養として錦鯉に興味関心があり、品評会等で観賞した	錦鯉に係る仕事や職業に興味関心があった	自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	その他
全　体	1,451	20.3	9.5	15.9	45.0	21.6	6.3	3.5	5.9	2.1
錦鯉を扱う団体や業者が主催する品評会や即売会	250	32.0	14.4	25.2	37.6	23.6	14.4	8.4	3.6	2.0
学校や職場で飼育されていた	367	18.5	21.5	22.1	50.4	22.6	8.2	4.6	3.5	1.4
公園や庭園、文化施設等でのイベント	796	13.6	6.4	16.5	60.4	27.0	5.4	2.4	3.6	1.6
自宅	196	57.7	14.3	20.4	18.9	14.8	8.7	7.1	7.1	0.5
自分が行っている別の分野の趣味・習い事の中で体験	113	20.4	12.4	17.7	22.1	14.2	15.9	8.8	33.6	1.8
その他	54	37.0	-	20.4	29.6	18.5	-	1.9	-	27.8

■錦鯉を飼育しやすい状況

錦鯉を飼育しやすい状況（ＧＱ11）に関する設問の結果では、「わからない」（36.5%）が最も多く、次いで「通いやすい場所に相談に乗ってもらえる養鯉場等があったら」（24.2%）、「知人、家族と一緒に飼育できたら」（22.8%）、「家族や知人等、身近な人から飼育の仕方等を教えてもらえたら」（19.7%）、「飼育の仕方や設備の整え方等をわかりやすく示している雑誌や専門誌があったら」（19.6%）となっており、身近な養鯉場や親族等に相談に乗ってもらったり、飼育の仕方を教えてもらったりしたいという傾向が見える。一方、支払い可能な月額費用（ＧＱ12）を見ると、「１万円未満」（67.7%）、「１万円以上～５万円未満」（18.0%）と続き、回答者の約 86%は５万円未満の費用であれば錦鯉の飼育を始めやすいと回答している。

ＧＱ11 とＧＱ12 のクロス集計の結果を見ると、「１万円未満」（67.7%）を選択した者の中では、「わからない」（91.5%）の回答比率が全体平均を大きく上回る一方、その他の選択肢は全体平均を下回っている。一方、「１万円以上～５万円未満」（18.0%）と回答した者の中では、「わからない」を除く全ての項目で全体平均を上回り、「知人、家族と一緒に飼育できたら」（26.6%）、「飼育の仕方や設備の整え方等をわかりやすく示している雑誌や専門誌があったら」（26.4%）、「通いやすい場所に相談に乗ってもらえる養鯉場等があったら」（23.4%）の３項目が全体平均を上回っている。

錦鯉を飼育しやすい状況×錦鯉の飼育に支払える月額費用

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

(%)

	n=	GQ12錦鯉の飼育に支払える月額費用					
		１万円未満	５１万円未満以上～	１５０万円未満以上～	５１００万円未満以上～	１５００万円未満以上～	１００万円以上
全　体	1,451	67.7	18.0	8.5	4.0	1.2	0.7
家族や知人等、身近な人から飼育の仕方等を教えてもらえたら	286	63.3	21.3	10.1	2.8	1.0	1.4
知人、家族と一緒に飼育できたら	331	50.2	26.6	14.5	6.3	1.8	0.6
通いやすい場所に相談に乗ってもらえる養鯉場等があったら	351	51.6	23.4	12.5	10.5	2.0	-
飼育の仕方や設備の整え方等をわかりやすく示している雑誌や専門誌があったら	284	51.1	26.4	13.4	6.0	2.8	0.4
その他	23	91.3	4.3	-	4.3	-	-
わからない	529	91.5	5.7	1.9	0.2	0.2	0.6

※n=30未満は参考値のため灰色

次に、錦鯉をこれまで飼育していない理由（ＧＱ13）に関する設問の結果では、「興味がなかった」（40.7%）が最も多く、次いで「錦鯉を飼育できる場所や設備がない」（26.3%）、「生物の扱いが難しいと思う」（23.5%）と続く。ＧＱ11 の飼育しやすい状況とのクロス集計を行い、参加体験者が飼育しやすい状況について更なる分析を行う。

飼育しやすい状況について「わからない」（36.5%）と回答した者のうち、飼育しなかった理由について「自分の趣味と合わない」（66.9%）、「興味がなかった」（57.7%）の回答比率が高く、体験をしても興味関心が湧かなかったことが分かる。一方、飼育をしやすい状況として、「通いやすい場所に相談に乗ってもらえる養鯉場等があったら」（24.2%）と回答した者が錦鯉の飼育を行っていない理由として「一緒にやってくれる人がいない」（49.6%）が最も多く、次いで「錦鯉の飼育方法等の相談をできる人が身近にいなかった」（48.9%）、「通いやすい場所に、錦鯉の飼育方法等の相談に乗

ってくれる場所がなかった」（45.5%）と続く。他の項目では、生物の扱いが難しい、設備がないという回答も全体平均を上回っており、錦鯉の飼育を行う際のハードルの１つとなっているが、一緒にやる人がいない、相談できる人や場所がない、と言った理由や事情の方が回答比率が高い傾向が見られる。

錦鯉を飼育していない理由×錦鯉を飼育しやすい状況

(%)

	n=	GQ11錦鯉を飼育しやすい状況					
		家族や知人等、身近な人から飼育の仕方等を教えてもらえたら	知人、家族と一緒に飼育できたら	通いやすい場所に相談に乗ってもらえる養鯉場等があったら	飼育の仕方や設備の整え方等をわかりやすく示している雑誌や専門誌があったら	その他	わからない
全　体	1,451	19.7	22.8	24.2	19.6	1.6	36.5
興味がなかった	591	16.2	14.6	13.0	11.3	1.7	57.7
通いやすい場所に、錦鯉の飼育方法等の相談に乗ってくれる場所がなかった	246	33.3	41.9	45.5	30.9	-	3.7
始めるための費用が確保できなかった	255	25.1	31.8	40.0	29.4	2.0	16.9
錦鯉を飼育するための十分な時間が取れそうになかった	190	29.5	34.2	41.6	32.1	1.1	18.4
一緒にやってくれる人がいない	115	33.0	47.0	49.6	33.9	-	10.4
錦鯉の飼育方法等の相談をできる人が身近にいなかった	131	36.6	38.2	48.9	45.0	-	9.2
生物の扱いが難しいと思う	341	22.6	24.6	29.0	26.7	3.2	36.4
錦鯉を飼育できる場所や設備がない	381	21.8	21.0	28.6	28.1	3.4	36.7
他の趣味や娯楽の方に関心が向いている	156	24.4	25.0	29.5	25.6	3.8	38.5
自分の趣味と合わない	133	11.3	12.8	8.3	9.0	4.5	66.9
その他	15	13.3	13.3	-	-	20.0	53.3

n＝30以上で
全体+10pt以上
全体+5pt以上
全体-5pt以下
全体-10pt以下

※n=30未満は参考値のため灰色

クロス集計の結果を見る限り、回答者にとって錦鯉を飼育しやすい状況とは、錦鯉を飼育できなかった事情や理由と密接な関係があり、一緒に飼育をしてくれる人の存在や、飼育について相談できる相手（親族あるいは養鯉場などの専門家）がいない等の事情があり、参加体験者にとって飼育を始める際のハードルになりやすくなっている傾向が見える。

上記のクロス集計の結果から、錦鯉の飼育や観賞体験をしたことがあると回答した者の特徴や傾向をまとめると、以下のとおりである。

１）参加体験者の体験機会ときっかけの傾向と特徴

ＧＱ９とＧＱ10 のクロス集計結果の分析からは、公園や庭園、文化施設等でのイベントや、学校や職場において、錦鯉を観賞する機会を得た者が多い傾向にある。また、親族等が錦鯉を飼育している場合は自宅において錦鯉に接する機会があるほか、品評会や即売会において観賞等の体験機会を得ている。加えて、テレビ等のメディアで知った者や友人・知人から誘われたと回答している者も、品評会・即売会を錦鯉の観賞を行った場として回答しており、公園や庭園、学校や職場のみならず、錦鯉の品評会や即売会も、錦鯉を鑑賞する機会として、重要な役割を果たしているものと推察される。

２）参加体験者が考える習いやすい状況や内容ついての傾向と特徴

参加体験者が錦鯉を飼育しやすい状況や内容については、月に支払える費用と習いやすい状況とのクロス集計結果からは、月額の費用として 10,000 円以上を支払うと回答した者ほど、飼育の具体的な状況について回答している傾向にあり、錦鯉を飼育してみたいと考えている者と捉えることができる。

一方、飼育していない理由と飼育しやすい状況とのクロス集計結果からは、錦鯉の鑑賞等の体験をしても錦鯉の飼育等に興味を持てなかった者が数多くいる一方で、興味関心はあっても一緒に飼育できる人がいない、錦鯉の飼育について相談できる人や場が身近にない、といった理由や事情があって飼育には至っていないことが分かる。生物を飼育することの難しさや、飼育を行うための設備についても飼育に至らない事情や理由として回答されているが、クロス集計の回答比率を見る限り、一緒に飼育できる人がいることや、身近に飼育の相談がしやすい人や場があることが錦鯉の飼育を始めやすい状況であると考えている者が多い傾向が見られる。

経験ありと回答した者の傾向と特徴

経験ありと回答した者の回答傾向について分析を行う。錦鯉の飼育を経験したことがある者がどのような経緯や場所で錦鯉の飼育を行い始め、どの程度の者が継続してきたのかを分析することで、参加体験者と未経験者との違いを明らかにする。

■始めたきっかけと継続性及び継続理由

錦鯉を飼育し始めたきっかけ（ＧＱ１）の結果からは、「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた」(60.8%）が最も回答比率が高く、次いで、「学校や職場で飼育されているのを見たり、公園や庭園、養鯉場や錦鯉品評会、文化施設等やイベントで観賞をしたりした」(13.6%)、「友人、知人などが錦鯉を飼育していて、勧められた・誘われた」(12.5%)、「趣味や教養として、錦鯉に興味関心があった」(11.9%）などとなっており、親族等からの影響が大きいことが分かる。

次に、飼育をし始めたきっかけ（ＧＱ１）と現在の継続状況（ＧＱ３）についてクロス集計を行い、始めたきっかけと継続率の関係を分析する。継続率の全体平均（34.1%）に対し、「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた」(74.5%）が全体平均の数値を大きく上回り、「友人、知人などが錦鯉を飼育していて、勧められた・誘われた」(68.9%）と続く一方、始めたきっかけとして最も回答比率が高かった「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた」(27.7%）が全体平均を下回る結果となり、養鯉場を営んでいた者が親族等にいた者や、友人・知人から勧められた者、イベントやメディアを通じて関心を持ったことをきっかけとして飼育をし始めた者の継続率が高い反面、親族等が飼育していたことをきっかけとして始めた者の継続率が低い傾向にあり、後者は何らかの事情や理由で継続できなかったと推察される。

錦鯉を飼育し始めたきっかけ×現在の継続状況

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

(%)

	n=	GQ3 現在の継続状況 続けている	続けていない
全 体	487	34.1	65.9
親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた	296	27.7	72.3
親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた	55	74.5	25.5
友人、知人などが錦鯉を飼育していて、勧められた・誘われた	61	68.9	31.1
学校や職場で飼育されているのを見たり、公園や庭園、養鯉場や錦鯉品評会、文化施設等やイベントで観賞をしたりした	66	53.0	47.0
テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	38	52.6	47.4
趣味や教養として、錦鯉に興味関心があった	58	37.9	62.1
錦鯉に係る仕事や職業に興味関心があった	20	70.0	30.0
自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	22	36.4	63.6
その他	16	12.5	87.5

※n=30未満は参考値のため灰色

次に、継続理由に関する設問（ＧＱ３補問１）では、「日本の文化だから」(33.1%）の回答比率が最も高く、次いで「養鯉場を営みたい（営んでいる）」(31.9%)、「一緒に楽しむ仲間がいる」(27.7%)、「錦鯉に愛着が湧いた（飼育が純粋に楽しい）」(27.1%）などと続いている。

始めたきっかけ（ＧＱ１）とのクロス集計を行い、継続する理由ときっかけの関係性について分析を行うと、まず継続理由として最も回答比率が高かった「日本の文化だから」(33.1%）と回答した者の中では、「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた」(58.5%）が最も回答比率が高く、次いで「友人、知人などが錦鯉を飼育していて、勧められた・誘われた」(54.8%)、「学校や職場で飼育されているのを見たり、公園や庭園、養鯉場や錦鯉品評会、文化施設等やイベントで観賞をしたりした」(45.7%）の回答比率が高い。「一緒に楽しむ仲間がいる」(27.7%）でも同じ項目で回答比率が高いことが分かる。

また、「養鯉場を営みたい（営んでいる）」(31.9%）と回答した者の中では、「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた」(50.0%)、次いで「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた」(46.3%）の回答比率が高く、親族が錦鯉を飼育していたと回答した者は継続率こそ高くはなかったものの、継続している者の中では、養鯉場を営んでいたり、もしくは今後開業を考えていたりする者が少なからずいることが分かる。

一方、友人や知人から誘われたり、文化施設やイベント等で観賞したりしたことをきっかけとして錦鯉の飼育を始めた者は、養鯉場を営みたいもしくは営んでいると考えている者は少ない傾向にあるが、その他の飼育を続けている理由については、全体平均を上回る回答比率となっており、錦鯉に愛着が湧いた、暮らしや生活の一部である、という認識を持っている傾向にある。

錦鯉を飼育し始めたきっかけ×錦鯉の飼育を続けている理由

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	GQ3補問1 錦鯉の飼育を続けている理由								
		養鯉場を営みたい（営んでいる）	日本の文化だから	一緒に楽しむ仲間がいる	錦鯉の飼育や選別など、奥深い文化をもっと知りたい	錦鯉に愛着が湧いた（飼育が純粋に楽しい）	暮らし、生活の一部となった（飼育や観賞をすることが生きがいとなった）	その他	特に理由はない	上記の中で当てはまるものはない
全 体	166	31.9	33.1	27.7	18.7	27.1	22.3	0.6	4.2	1.8
親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた	82	50.0	29.3	25.6	24.4	30.5	28.0	-	4.9	2.4
親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた	41	46.3	58.5	41.5	24.4	31.7	22.0	-	2.4	-
友人、知人などが錦鯉を飼育していて、勧められた・誘われた	42	31.0	54.8	50.0	33.3	35.7	28.6	-	-	-
学校や職場で飼育されているのを見たり、公園や庭園、養鯉場や錦鯉品評会、文化施設等やイベントで観賞をしたりした	35	28.6	45.7	40.0	37.1	45.7	31.4	2.9	2.9	2.9
テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	20	45.0	55.0	55.0	40.0	50.0	40.0	-	-	-
趣味や教養として、錦鯉に興味関心があった	22	31.8	40.9	45.5	36.4	72.7	59.1	-	4.5	-
錦鯉に係る仕事や職業に興味関心があった	14	64.3	71.4	42.9	50.0	50.0	64.3	-	-	-
自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	8	62.5	62.5	62.5	50.0	50.0	75.0	-	-	-
その他	2	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-

※n=30未満は参考値のため灰色

錦鯉の飼育から離れたきっかけや理由（ＧＱ３補問２）を見ると、「錦鯉の飼育ができる環境を維持できなくなった」（58.6%）と最も回答比率が高く、次いで「興味を失った」（14.0%）、「時間がなくなった」（13.7%）と続いている。

始めたきっかけ（ＧＱ１）と離れたきっかけをクロス集計しその関係について分析を行う。全体平均との差が大きい回答比率に着目すると、「錦鯉の飼育ができる環境を維持できなくなった」（58.6%）と回答した者の中で、「学校や職場で飼育されているものを見たり、公園や庭園、養鯉場や錦鯉品評会、文化施設等やイベントで観賞をしたりした」（45.2%）の回答比率が低く、参考値ではあるが、「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた」、「自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた」と回答した者の場合も、この回答比率は低くなっていることが分かる。

また、「興味を失った」（14.0%）と回答した者の中では、「学校や職場で飼育されているものを見たり、公園や庭園、養鯉場や錦鯉品評会、文化施設等やイベントで観賞をしたりした」と回答した者の回答比率が 25.8%と高いほか、「健康面、体調面で続けることが難しくなった」（3.7%）と回答した者の中でも、「学校や職場で飼育されているものを見たり、公園や庭園、養鯉場や錦鯉品評会、文化施設等やイベントで観賞をしたりした」（9.7%）の回答比率が高い。「学校や職場で飼育されているものを見たり、公園や庭園、養鯉場や錦鯉品評会、文化施設等やイベントで観賞をしたりした」と回答した者が錦鯉の飼育を続けなくなった理由としては、興味を失ったことが大きいことが分かる。その他の回答者では、親族等が養鯉場を営んでいたと回答した者を除き、飼育環境の維持が困難となり、飼育が継続できなくなっている傾向が表れている。

錦鯉を飼育し始めたきっかけ×錦鯉の飼育から離れたきっかけや理由

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

(%)

	n=	GQ3補問2 錦鯉の飼育から離れたきっかけ								
		時間がなくなった	錦鯉の飼育ができる環境を維持できなくなった	飼育等の相談をできる場所がなくなった	興味を失った	経済的に続けるのが難しくなった	健康面、体調面で続けることが難しくなった	一緒に世話をしてくれる家族や仲間の手が借りられなくなった	養鯉場を閉鎖した	その他
全 体	321	13.7	58.6	5.9	14.0	9.7	3.7	10.6	5.3	10.0
親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた	214	11.7	63.6	6.1	12.6	9.3	2.8	13.6	6.1	10.3
親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた	14	21.4	35.7	7.1	21.4	7.1	7.1	-	-	14.3
友人、知人などが錦鯉を飼育していて、勧められた・誘われた	19	21.1	68.4	-	21.1	10.5	-	15.8	5.3	5.3
学校や職場で飼育されているのを見たり、公園や庭園、養鯉場や錦鯉品評会、文化施設等やイベントで観賞をしたりした	31	16.1	45.2	9.7	25.8	9.7	9.7	12.9	6.5	6.5
テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	18	27.8	66.7	11.1	27.8	11.1	5.6	5.6	-	-
趣味や教養として、錦鯉に興味関心があった	36	13.9	61.1	5.6	13.9	11.1	2.8	5.6	8.3	8.3
錦鯉に係る仕事や職業に興味関心があった	6	16.7	50.0	16.7	66.7	16.7	16.7	33.3	-	-
自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	14	35.7	42.9	7.1	-	14.3	-	7.1	7.1	7.1
その他	14	7.1	64.3	-	-	14.3	7.1	7.1	-	35.7

※n=30未満は参考値のため灰色

以上のようなクロス集計の結果からは、親族等が錦鯉の飼育を行っていたことをきっかけとして錦鯉の飼育を始めた者は、その総数は多いものの、継続率は高くない傾向にある。継続率だけに着目するなら、親族等が養鯉場を営んでいた、友人・知人から誘われた、メディアで知って興味を持った者の継続率が高い傾向にある。

錦鯉の飼育を続けている理由については、友人・知人から勧められたり、イベント等がきっかけとなったりした者の場合、錦鯉を日本の文化として大事に考えており、錦鯉に愛着を持ち、暮らしや生活の一部として捉えていることが分かる。また、親族等が錦鯉を飼育していた者の場合、継続率が低い傾向にこそあるが、養鯉場を開きたいもしくは開いているとする回答比率が高く、本格的に飼育を行っている者と捉えることができる。

一方、錦鯉の飼育を継続できなかった理由や事情と始めたきっかけとのクロス集計からは、親族等が養鯉場を営んでいたと回答した者を除き、ほとんどの者が飼育環境の維持が困難となったことで、飼育を継続できなくなっていることが分かる。その他、イベント等での観賞をきっかけにした者等の場合、興味を失ったとの回答比率が高い傾向もみえる。

■活動内容

錦鯉に関する活動内容（ＧＱ５）の結果では、「自宅等の池で飼育している（いた）」（64.3%）の回答比率が最も高く、次いで、「自宅等の水槽で飼育している（いた）」（32.9%）、「養鯉場に預けて飼育してもらっている（いた）」（11.3%）と続く。

まず、活動内容（ＧＱ５）と現在の継続状況（ＧＱ３）についてクロス集計を行い、活動内容と継続率の関係を分析する。継続していると回答した者（34.1%）の中では「自宅等の池で飼育している（いた）」（26.8%）の回答比率が低く、「養鯉場に預けて飼育してもらっている（いた）」（83.6%）、「錦鯉の品評会に出品している（いた）」（73.5%）の回答比率が高いことが分かる。

錦鯉の飼育に関する活動内容×現在の継続状況

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	GQ3 現在の継続状況	
		続けている	続けていない
全 体	487	34.1	65.9
自宅等の池で飼育している(いた)	313	26.8	73.2
自宅等の水槽で飼育している(いた)	160	41.3	58.8
養鯉場に預けて飼育してもらっている(いた)	55	83.6	16.4
錦鯉の品評会に出品している(いた)	34	73.5	26.5
錦鯉の養鯉場を営んでいる(いた)	22	68.2	31.8
その他	7	14.3	85.7

※n=30未満は参考値のため灰色

次に、活動内容（ＧＱ５）と月額費用（ＧＱ７）についてクロス集計を行い、関係性を分析する。まず最も回答比率が高かった「１万円未満」（60.4%）では、「自宅等の池で飼育している（いた）」が全体平均よりやや高い。その一方で、養鯉場に預けている者や品評会に錦鯉を出品している者の回答比率が全体平均と大きく差があり、この２者は、５万円以上の月額費用への回答比率が高いこ

とからも、飼育方法によって、月額費用が異なることが確認できる。

錦鯉の飼育に関する活動内容×錦鯉の飼育に関する月額費用

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	GQ7 錦鯉の飼育に関する月額費用						
		1万円未満	1万円以上～5万円未満	5万円以上～10万円未満	10万円以上～50万円未満	50万円以上～100万円未満	100万円以上	5万円以上合計
全体	487	60.4	22.0	9.7	4.1	2.1	1.8	17.7
自宅等の池で飼育している(いた)	313	70.3	18.2	5.4	2.6	1.6	1.9	11.5
自宅等の水槽で飼育している(いた)	160	50.0	28.1	13.1	1.9	2.5	4.4	21.9
養鯉場に預けて飼育してもらっている(いた)	55	20.0	21.8	29.1	12.7	5.5	10.9	58.2
錦鯉の品評会に出品している(いた)	34	14.7	17.6	26.5	17.6	8.8	14.7	67.6
錦鯉の養鯉場を営んでいる(いた)	22	13.6	27.3	18.2	9.1	9.1	22.7	59.1
その他	7	85.7	14.3	-	-	-	-	-

※n=30未満は参考値のため灰色

■経験年数

錦鯉の飼育を続けている年数（ＧＱ４）の結果では、「３～５年未満」が 22.6%と最も多く、次いで「５～10 年未満」の 22.0%、「１～３年未満」の 19.7%と続いている。

経験年数（ＧＱ４）と習い始めたきっかけ（ＧＱ１）のクロス集計を行い関係性について分析する。まず、飼育をし始めたきっかけとして回答比率が最も高かった「親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた」(60.8%）と回答した者のうち、「20 年以上」(80.4%)、「10～20 年未満」(72.6%）が全体平均を大きく上回っているほか、「５～10 年未満」(70.1%)、「１年未満」(68.9%）の項目も回答比率が高いことが分かる。

その一方、経験年数が１～５年未満と回答した者においては、「友人、知人などが錦鯉を飼育していて、勧められた・誘われた」の回答比率が全体平均を上回っているが、経験年数が１年未満と回答した者において、友人・知人から誘われた、あるいはイベント等をきっかけとして飼育を始めたという回答比率が低い傾向が見られる。

錦鯉の飼育を続けている年数×錦鯉を飼育し始めたきっかけ

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	GQ1 錦鯉を飼育し始めたきっかけ								
		親や兄弟姉妹・祖父母など家族が飼育していた	親や兄弟姉妹・祖父母など家族が養鯉場を営んでいた	友人、知人などが錦鯉を飼育していて、勧められた・誘われた	庭園、養鯉場や錦鯉品評会で、文化施設等やイベントで観賞をしたりした	学校や職場で飼育されている公園や公園を見たり	テレビや映画、雑誌、漫画、ウェブメディア等で知った	趣味や教養として、錦鯉に興味関心があった	錦鯉に係る仕事や職業に興味関心があった	自分が行っている別の分野の趣味・習い事と関係していた	その他
全体	487	60.8	11.3	12.5	13.6	7.8	11.9	4.1	4.5	3.3
1年未満	45	68.9	15.6	6.7	6.7	6.7	8.9	6.7	2.2	4.4
1～3年未満	96	41.7	15.6	17.7	16.7	7.3	11.5	5.2	4.2	3.1
3～5年未満	110	47.3	12.7	20.0	20.0	7.3	12.7	4.5	4.5	2.7
5～10年未満	107	70.1	8.4	6.5	11.2	9.3	10.3	0.9	3.7	0.9
10～20年未満	73	72.6	6.8	8.2	6.8	5.5	11.0	4.1	4.1	4.1
20年以上	56	80.4	8.9	10.7	14.3	10.7	17.9	5.4	8.9	7.1

次に経験年数（ＧＱ４）と飼育の仕方を学んだ方法を選んだ理由（ＧＱ２補問）のクロス集計を行い関係性について分析する。飼育の仕方を学んだ方法を選んだ理由として最も回答比率が高かった「家族や友人等と一緒が良かった」（33.7%）を回答した者のうち、「１年未満」（53.3%）、「20 年以上」（46.4%）の回答比率が全体平均よりも高い傾向にある。

錦鯉の飼育を続けている年数×飼育の仕方を学んだ方法を選んだ理由

(%)

n＝30以上で
- 全体+10pt以上
- 全体+5pt以上
- 全体-5pt以下
- 全体-10pt以下

	n=	GQ2補問　飼育の仕方を学んだ方法を選んだ理由									
		家族や友人等と一緒が良かった	通いやすい場所だった	費用が手頃だった	通いやすい時間帯だった	指導方法やカリキュラム、費用が具体的に示されていた	雑誌や専門誌の解説がかりやすかった	本格的にやってみたかった	手軽にやってみたかった	その他	特に理由はない、わからない
全　体	487	33.7	14.6	14.6	8.2	7.0	7.2	7.0	18.5	3.3	21.8
1年未満	45	53.3	13.3	11.1	8.9	2.2	4.4	4.4	8.9	2.2	17.8
1～3年未満	96	28.1	16.7	21.9	8.3	8.3	7.3	3.1	15.6	1.0	16.7
3～5年未満	110	24.5	22.7	18.2	7.3	8.2	4.5	6.4	20.0	2.7	17.3
5～10年未満	107	29.9	10.3	6.5	8.4	7.5	7.5	9.3	16.8	4.7	29.9
10～20年未満	73	38.4	9.6	16.4	8.2	4.1	8.2	8.2	21.9	4.1	21.9
20年以上	56	46.4	10.7	10.7	8.9	8.9	12.5	10.7	26.8	5.4	26.8

経験年数（ＧＱ４）と錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力（ＧＱ８）のクロス集計を行い関係性について分析する。経験年数で見ると、20 年以上と回答した者の場合、「錦鯉の飼育・観賞することで、心を落ち着かせることができる」（42.9%）との回答比率が特に高く、その他「飼育をしていくことで、変化する模様」（41.1%）、「錦鯉の飼育・観賞を通じて感じられる四季等」（26.8%）、「日本の伝統的な文化として国内外に知られている」（17.9%）も全体平均を上回る回答比率である。その一方で「飼育していくための技術」（16.1%）の回答比率は低い。

経験年数が長い点に着目すると、５年以上の経験年数の者において、「錦鯉の飼育・観賞することで、心を落ち着かせることができる」との回答比率が高くなり、１～５年未満では回答比率が低く、経験年数の長さによって魅力や興味関心の持ち方が異なることが分かる。特に経験年数が１年未満と回答した者の場合、「飼育をしていくことで、変化する模様」（60.0%）がとりわけ回答比率が高く、その他の項目では回答比率が低くなっており、経験年数が長い者が広く錦鯉の魅力を回答している傾向とは対照的といえる。

錦鯉の飼育を続けている年数×錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力

(%)

n＝30以上で
全体+10pt以上
全体+5pt以上
全体-5pt以下
全体-10pt以下

	n=	GQ8 錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力							
		飼育をしていくことで、変化する模様	飼育していくための技術	種類によって異なる多様な色彩や模様	錦鯉の飼育・観賞を通じて感じられる四季等	錦鯉の飼育・観賞することで、心を落ち着かせることができる	日本の伝統的な文化として国内外に知られている	その他	上記の中で当てはまるものはない
全 体	487	32.2	21.1	32.2	18.9	26.3	8.2	1.8	18.5
1年未満	45	60.0	17.8	11.1	8.9	6.7	2.2	2.2	22.2
1～3年未満	96	26.0	29.2	27.1	14.6	19.8	5.2	2.1	12.5
3～5年未満	110	24.5	25.5	40.9	17.3	19.1	10.0	0.9	19.1
5～10年未満	107	29.9	13.1	31.8	21.5	32.7	5.6	0.9	20.6
10～20年未満	73	31.5	21.9	37.0	23.3	35.6	9.6	2.7	19.2
20年以上	56	41.1	16.1	35.7	26.8	42.9	17.9	3.6	19.6

上記のクロス集計の結果から、錦鯉の飼育をしたことがあると回答した者の特徴や傾向をまとめると、以下のとおりである。

1）飼育し始めたきっかけと継続率に見える傾向と特徴

親族等が錦鯉を飼育していたことをきっかけとして錦鯉の飼育を始めた者の総数は多いが、継続率は決して高くはなく、親族等が養鯉場を営んでいたり、友人・知人から誘われたりした者の方の継続率が高い傾向が見られる。

きっかけと継続理由及び辞めてしまった理由とのクロス集計の結果からは、友人や知人から誘われた、あるいはイベント等での体験をきっかけとして始めた者は、錦鯉の飼育を楽しみ、暮らしや生活の一部として捉えていることが継続理由の傾向として見える。一方、親族等が錦鯉を飼育していたあるいは養鯉場を営んでいたことで飼育を始めた者では、養鯉場を営みたいもしくは営んでいるとの回答比率が高い傾向にある。一方、始めたきっかけと飼育を辞めてしまった理由とのクロス集計では、親族等が養鯉場を営んでいた、あるいはイベント等をきっかけに飼育を始めた者を除き、ほとんどの者が飼育環境を維持できなくなったことが、継続できなくなった理由であることが分かる。

2）活動内容と継続している状況や年数から見える傾向と特徴

養鯉場に預けて飼育している者や錦鯉の品評会に出品している者の継続率が高く、自宅等の池で飼育している者の継続率はあまり高くない傾向が見られる。このような活動を行っている者の月額費用の傾向としては、継続率が高かった養鯉場に預けて飼育している者や、品評会に出品している者ほど、月額の費用を多く出している傾向が見られる。

3）経験年数と飼育をし始めたきっかけや魅力から見える傾向と特徴

経験年数と飼育し始めたきっかけとの関係を見た場合、いずれの経験年数においても、親族等が錦鯉の飼育をしていたことをきっかけとして飼育を始めた者は多いが、とりわけ 10 年以上

の経験年数と回答した者の回答比率が高い。一方、１～５年未満の経験年数の場合では、友人や知人からの勧めや、イベント等での体験をきっかけとしている者も少なくない傾向が見られる。経験年数と飼育の仕方を学んだ方法を選んだ理由とのクロス集計では、いずれの経験年数においても家族や友人等と一緒が良かったとの回答は多いが、経験年数が１年未満、20 年以上と回答した者の回答比率が高い傾向にある。また、１～５年未満の経験年数の場合、通いやすさや費用の手頃さの回答比率もやや高い傾向が見える。

経験年数と錦鯉の飼育に関する興味関心や魅力については、経験年数が長くなるほど、多様な魅力を回答する傾向にあり、特に錦鯉の飼育や観賞で心を落ち着かせることができるとの回答は 20 年以上の経験年数の回答者で顕著である。

③分析結果のまとめ

錦鯉の飼育や観賞等についての経験・体験の有無、経験者や参加体験者、未経験者の錦鯉に関する活動状況や興味関心の度合いを把握することを目的としてウェブアンケートを利用した調査を実施した。

調査結果からは、錦鯉を飼育したことがない者が多いことが分かった。未経験者が多いことについては、設問群の回答結果からも見えるように、興味関心が持てなかった、自分の趣味と合わない者がいる一方で、そもそも知らなかった者が多くいることに注目する必要がある。また、錦鯉を知ってはいるが、気軽に体験できる場がなかった、あるいは体験できる場自体を知らなかったことで、参加体験には至らなかった者もいることが明らかになった。

一方で、経験者や参加体験者の場合は、錦鯉について知る機会や体験をする場に接する機会があったことから、錦鯉の飼育を行ったり、観賞したりすることができたことが分かる。経験者の場合、親族等が錦鯉を飼育していたことをきっかけとして飼育し始めたと回答している者が多く、その他、イベント等で体験したり、友人・知人から勧められたりしたことが、飼育を始めるきっかけとなっている。一方、参加体験者の場合は、公園や庭園、文化施設等での観賞等を体験しており、これ以外にも錦鯉の品評会や即売会で観賞等の体験をしている傾向があり、経験者・参加体験者・未経験者のそれぞれに、錦鯉を知る機会、接することができる機会や環境に大きな開きがあることが、調査結果の分析から見えてくる。

経験者の活動状況等については、約6割は継続していない状況で、継続している者については、70代以上を除き、若い世代ほどに継続率が高い傾向が見られる。

また、調査結果では、錦鯉の飼育の仕方に関して自宅等の池を使って飼う方法をとっている人が最も多かったが、継続できていないとの回答率も高かった。

その一方、養鯉場等に預けている人や水槽で育てている人の継続率は比較的高い傾向にあり、興味関心を持つ者の環境に応じた錦鯉の飼育の方法が、継続性に繋がるものと考えられる。

このことは、継続していない者が続けられなかった事情として、錦鯉を飼育できる環境が維持できなくなったとの理由が最も大きいため、生物を飼育し観賞を楽しむ文化特有の環境づくりが継続の難しさに結び付いている状況にあることが見えてきた。

参加体験者の活動状況等については、参加体験をしたきっかけと体験した機会のクロス集計から、公園や庭園等で錦鯉を観賞する体験をしたとの回答比率が高い傾向にあるほか、品評会や即売会が錦鯉を観賞する機会になっていることも明らかになった。また、観賞等を経験している者がこれまで錦鯉を飼育し始めるに至らなかった理由や事情と飼育を始めやすい状況のクロス集計からは、一緒に飼育をしてくれる人や、身近に飼育方法等の相談に乗ってくれる人や場があれば、錦鯉の飼育を始めやすい傾向にあることが見えてくる。

上記の結果から、錦鯉の飼育などに興味関心を持つ者を増やしていくことを想定した場合、例えば、全国で行われている様々な規模の錦鯉の品評会などのイベントが、錦鯉の飼育や観賞に関する

情報を発信し、興味関心を喚起していく上で重要になるものと考えられる。このようなイベントそのものを、新聞や雑誌あるいはインターネット等のメディアを活用し、広く周知していくことで、錦鯉やそこに関わる様々なイベントに対する一般への認知を高めると共に、錦鯉は池で飼うだけでなく、水槽や預けて飼育する等の様々な飼育の仕方もあり、楽しみ方もあることを伝えることで、興味関心を持つ者を増やす可能性を広げることができるものと考えられる。